

# 滋賀縣人

第197号

発行所

一般社団法人 東京滋賀県人会

東京都中央区東日本橋3-6-20-205  
電話 03 (3661) 1180 郵便振替 00180-4-26966  
FAX 03 (3661) 5038

発行日 令和3年3月20日

発行人 小林洋一

## Contents

- 新春対談 ..... 2
- 県人会の活動 ..... 6
- 関東だより ..... 8
- 法人会員紹介 ..... 12
- ちょっとひと息 ..... 13
- ここ滋賀 ..... 14
- カメラで巡る 滋賀県祭りの旅  
「[近江の生きた祭り] 長浜曳山祭」 ..... 16
- 酒蔵だより ..... 20
- 事務局より ..... 21



# 「長寿の滋賀県人、コロナに負けるな」

司会 新年明けまして、おめでとうござ

います。年末年始は新型コロナウイルス感染拡大を受け、移動自粛要請が強化され、紅白歌合戦も無観客で催されるなど、異例の年末年始でした。本来ですと今年初の発行となる会報誌では新年会を大きく取り上げる予定だったのですが、今回はコロナ感染拡大により早々に中止を決定したため、新年会特集に代えて新春トップ対談とさせていただきます。冒頭、小林会長から、コロナ禍の中、窮屈な思いをされている会員の皆さまに一

言、メッセージをお願いします。

小林 コロナ問題に対して、政府より二度目となる。緊急事態宣言が、首都圏その他主要都市に対して発出されるほどの状況が続いていますが、東京滋賀県人会会員の皆様には、コロナ禍に負けず、お元気で過ごさしめたいと存じます。

一方で、世界及び日本でも、漸くワクチン接種の朗報が発表されていますので、まだまだ終息への道筋が見えないものの、今後は少しでも状況が良くなるように祈りたいと思います。

昨年八月末の県人会総会の後の懇親会、秋の近江ゆかりの会、そして今年の新年会と、県人会の三大行事全てが中止を余儀なくされたことは残念至極であり、一日も早いコロナ禍の収束と、普通の県人会活動の再開を念じてやみません。十月以降には、自粛要請に対応した形で、オンラインでのイベントや企画を行いました。今年も同様の方式で、できる限りの企画・イベントを実施したいと考えています。

## 滋賀に育まれた少年・少女時代

司会 引き続き、滋賀で過ごされた少年・少女時代など、懐かしい滋賀の思い出を語っていただけますでしょうか。内田さんからお願ひできますか。

内田 私は大津市の石山で育ちましたので、瀬田川の唐橋や美しい琵琶湖など水のある風景が当たり前の毎日でした。妹とよく湖岸を散歩やランニングしたり、

親に湖周道路をドライブに連れて行ってもらい、神社仏閣巡りや、琵琶湖や山々の景色を楽しんだり、のどかで楽しかった家族の思い出があります。

幼少期から習い事で京都に通っていたこともあり、滋賀が退屈に感じられ、正直都会に憧れていた時期もありました。振り返れば、高校は京都、大学は海外、職場も大阪で、結婚してから二十年以上東京と、高校以降はずっと滋賀を外から見てきた気がします。

東京に来てから滋賀の良さ、奥深さを改めて思い知ることが多く、特に二〇一七年十月に滋賀県情報発信拠点「ここ滋賀」ができてからは、それまで知らなかった、特に湖北の郷土食や滋賀県全体のことを知ることができ、「なんて滋賀って素晴らしいんだらう」と、幼少期に気付かなかった滋賀の魅力に大人になってからはまっています。

塚本 私も大津で育ち、毎日、琵琶湖と比叡山を見て、美しいところに生まれて良かったと思っています。小学生の頃は、琵琶湖によく釣りに行きました。当時はボテ、ハエが釣れましたが、最近はずりギル、ブラックバスなど外来種が増え、環境が随分変わってきました。そんな小さい時の思い出があります。

それから、お正月ですと、百人一首をよくやりました。日本古来の素晴らしい遊びなので、孫に教えています。以前は私が勝っていました。今は中学生の孫がかなり強くなり、負けるようになりました。近江神宮で毎年、クイーン、キングを決める大会をやっていますが、百人一首も滋賀県とゆかりが深く、風土とともに歴史に触れる中で育つことができました。

と今も感じています。

小林 昭和二十四年大津生まれです。小学校時代は丁度、戦後十年程度ですが、今とは全く異なり、正に何もなかった時代、一言で言うところ国民みんなが貧しかった感じでした。当時の写真を見ても、白黒のせいもありますが、今の孫たちの表情や衣類等とは全く異なっております。学校から帰ると、遊びといえば、鬼ごっこ、野球、ビー玉、めんこ、夏には地藏盆やおみこしなどの楽しみがありました。当然、塾とかスポーツクラブなどはなく、何となく、同じ町内の子供たちでの遊びが中心でした。

でも地域では大人から子供まで、それなりの結束力があり、今のよう物が豊富ではなかったものの、今思い出しても、みんなそれなりに精一杯努力して、生き生きしていたように感じます。夏には学校のプールや柳ヶ崎の水泳場、また母の実家の八日市で従弟たちと愛知川で泳いだり、時にはよその畑のスイカやトマトをいただいたりしたのが楽しい思い出です。

また、戦後のベビーブームの最後の時期で、とにかく子供が多くて、逢坂小学校は六クラス、打出中学では確か十二クラス、膳所高校では十クラスもありました。彼らとは後々競争することになりましたが、今となってはこの多くの仲間たちが宝ものとなっています。

司会 皆さん、明るく楽しい十代で、思い出の宝物箱には滋賀が一杯詰まっていますね。私も東近江(八日市)の生まれですが、毎年、愛知川の急流で泳いだことや、鮎、鰻、ウグイ、ハスなどを手掴みしたことなど、懐かしい思い出



です。上流でお漏らしもしてしまいましたので、本日対談いただいている方々にご迷惑をおかけしたかもしれません。改めて、お詫び申し上げます。

さて、皆さん、その後大学生や社会人として滋賀を離れ、今も首都圏で暮らされているわけですが、外から見て、滋賀の良さ、発展の可能性、滋賀の今後への期待について、色々な思いを持たれていると思います。いかがでしょうか。

### 「まだまだ伸びしろのある」

**塚本** 滋賀の良さは色々あるでしょうが、最近印象的に感じているのは、コロナ禍の中、生きていくというか、「命の尊さ」を強く感じます。滋賀県はとても暮らしやすい県で、平均寿命が男性一位、女性四位。残念ながら男女の平均寿命は六歳違います。男性八十一・七歳、女性八十七・五歳で、全国でもトップクラス。暮らしやすく、しかも長生きの原因は、ストレスや食べ物に関係すると思



ます。今見直されているのが発酵食品。鮎ずしとか、漬物とか、発酵食品を沢山食べることで寿命が長くなることは、滋賀の良さとして挙げられると思います。その他にも、皆さんから色々挙げられると思いますが、取り敢えず、皮切りに申し上げます。

**小林** 滋賀県の魅力は、大きく言って三点あると思います。一つは、琵琶湖を中心とする素晴らしい自然です。

新幹線の車窓から琵琶湖が見えるとホッとします。春夏秋冬、それぞれに素晴らしい四季があるし、水量溢れる多くの河川と日本一の琵琶湖。東は伊吹山系と鈴鹿山系、西には比良山系の山々があり、一年を通じて近江八景や琵琶湖八景に代表されるような素晴らしい景観を楽しむことができます。山々と琵琶湖の間に展開する土地は平たんて肥沃、米作や畑作等の大規模農業に最適だし、また古琵琶湖層という食べ物に最適な地層があり、近江牛をはじめ、お茶やお酒等おいしいものが多い。最近では、ピワイチという名での琵琶湖一周のサイクリングロードが完成し、琵琶湖や周りの多くの景勝地を楽しむ素晴らしい環境ができています。

二つめは、最近のNHKの度重なる大河ドラマでも取り上げられているように、歴史、史跡、素晴らしい文化財等が多いと言ったことです。

天智天皇が開かれた大津京以来、奈良時代、平安時代、安土桃山時代、江戸時代に至るまで多くの歴史的な出来事があり、それらに関連する史跡、神社・仏閣、また国宝級の文化財も多くある(比叡山、近江神宮、石山寺、三井寺、安土城、彦

根城等)。また、近江商人発祥の地であり、その哲学「三方良し」は、現代の最先端のステークホルダー資本主義の考え方の原点です。

三つめは、地政学的アドバンテージ(優位性)です。滋賀県は、近畿経済圏、中京経済圏、北陸経済圏の三つの経済圏と、多くの幹線・高速道路と鉄道網によりアクセスしやすく、経済的な結びつきが強い。現在、多くの大企業や中堅企業が工場や研究所を保有しており、県や市町も工業団地を備えるなど、最小コストでの原材料調達と製品の販売が可能で

また、立命館大学ほか、新たな大学や高校、家族が生活しやすい教育、病院、ショッピングなどのインフラも相当整備されつつあり、滋賀県での生活の魅力が高まっています。

最も素晴らしいことは、近年日本全国各地、地震、津波、台風、大雨・洪水と自然災害が続いていますが、滋賀県はほとんどそういう自然災害がないことです。

そして、大事なことは、滋賀県の戦略として、それらの魅力を一層高めつつ、健康滋賀の推進、産業の活性化と働く場の創出、そして琵琶湖と共生する魅力ある滋賀を創生することを目標に、色々な対策を打っておられることです。子育てのしやすい環境整備、大学の誘致をはじめとする教育インフラの整備、病院やショッピングセンターの設立等、生活者優先の政策がとられており、多くのヤング層が滋賀県に移住しています。また、県民の健康増進策により今では滋賀県が日本有数の長寿県となっていることも大きな成果です。

また、産業政策面ではこれまで実施さ

れてきた工業団地の造成と企業誘致の促進の結果、多くの企業が進出していますし、ここで働く外国人も多く、国際化も進んでいます。こういう政策を積極的に進め、多くの成果が挙がっていることは、今後ともふる里滋賀の将来について、大いに期待しているところです。

一方で、現在滋賀県として少子化や地方創生に対して打ち出している様々な政策は、ほとんどが定住・移住に関するものですが、滋賀県の自然や素晴らしさ、魅力を存分に発揮するのはやはり観光だと思っています。日本の他都道府県からの観光客や海外からの観光客を対象にした政策や企画を、更に策定して、もっと多くのビジターを呼び込む必要があると思います。

例えば、ピワイチを活用したサイクリングの競技会や琵琶湖周航の歌をたどるヨットレースやボートレースなども面白いし、まずは地域対抗から始め、近畿大会や全国大会に広げれば、宿泊施設等も併せて需要がでてくるのではないかと思います。

**内田** コロナを機に、地方が見直されていく時代到来だと思えます。これは滋賀にとってもチャンスであると感じています。滋賀は、琵琶湖はもちろん、安土城跡をはじめとする数々の名城や神社仏閣そして歴史舞台、世界中の子供達が憧れる忍者、NHKスカレットでドラマの舞台になった信楽焼、また食に関しても、近江牛、米、酒、日本最古の茶、発酵食品など、国内だけでなく海外に向けても魅力的なコンテンツが沢山あるのですから、あとは更なる情報発信力の向上が必要だと思えます。



それには東京からの情報発信にもっと重点を置いてもいいのではないかと思います。そういう意味でまだまだ伸び代や可能性があると思います。「ここ滋賀」はどの道府県のアンテナショップよりも最高の立地でインパクト大ですし、最近では滋賀県食のブランド推進課も首都圏メニユーフェアで新しい感覚の発信をさせていて期待感が高まっています。老若男女様々な意見があると思いますが、パランスをとるのではなく、未来に目標を定めたメリハリのある振り切った施策や感性が必要だと思えます。今後、各自治体がどのような首都圏魅力発信事業を展開され、シテイセールスをどう強化されるかとも興味があります。

具体的には、小林会長もおっしゃったように、特に滋賀は日本一の湖を有する県なのに、レジャーや観光に活かしきれない気がします。もっとマイアミビーチのように砂浜を作ってイベントを開催するとか、ヨーロッパの湖のある観光地を参考にして、琵琶湖の美しい景色を望める宿泊施設整備に力を入れるとか、琵琶湖から陸を眺める客船の旅を売りにするとか、観光で琵琶湖に来るような魅力ある施策、例えばピワイチもその一つだと思うのですが、サイクリングをする、その先の付加価値や付随する楽しみみたいなものがはつきり見えるといいなと思います。

また、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」で、戦乱の歴史舞台滋賀を打ち出す「戦国ワングラード」が展開され、個人的にも凄く期待していましたが、コロナの影響で、関わられた方も無念だったと思いますが、東京まで届いてこなかった。歴史

コンテンツは強力な観光資源ですし、観光イベントを県内でやったところであまり意味がない。滋賀と東京間の往来は感染拡大リスクや経費面の問題もあります。マンパワー的なところも含めて東京県人会をもっと活用して頂き連携がとれば、今後、東京からの発信もできるのではないかと感じています。

やはり、魅力発信の起点はまずは政治・経済の中心である東京からだと思えますし、他府県県人会の本部は殆どが東京に置かれているのに、滋賀県はなぜか地元で置かれている。これはとても非効率で残念なことです。

最近では、東京滋賀県人会は、甲賀市はじめ守山市などの市町自治体との連携も組ませていただいでいて、ここ滋賀におけるイベント開催を中心に、日本の文化発信拠点である歌舞伎座でも、「甲賀市物産展」「甲賀市ポスター展示」や「守山市からの贈り物 薔薇の展示」などを開催しました。また徳川家の菩提寺である増上寺で「甲賀市忍者検定」を開催するなど、東京ならではの地の利とネットワークを生かした各自治体や各団体の首都圏セールスのお手伝いをさせていただきたいと思っています。そうすれば単なる親睦団体ではなく、少しは故郷のためにお手伝いや恩返しができ、存在意義が出てくるのではないかと思います。私も、近江の茶のアンバサダーを拝命していますが、東京の営業広報担当として、今後とも色々な繋がりを作らせていただきたいと思っています。

東京で発信することは地道な作業かもしれませんが、大変重要なことだと思えます。その繰り返しですが、滋賀「ここ」にあり、

ということに繋がるのだと思います。変化の時代を好機に捉えて、滋賀と東京の繋がりを強固なものにして、行政と民間が手を携えながら、新しい発信の仕方にチャレンジして行くことが大事だと思います。

皆様から力強いメッセージをいただき、ありがとうございます。総括すると、地政学的に滋賀の持つポテンシャルは高いが、滋賀はそれを十分活かしかつていないということでしょうか。そのような中で、約三年前、県の情報発信拠点「ここ滋賀」がオープンし、県の物産、食、観光情報の提供など、東京・日本橋の一等地で滋賀PRに大きな役割を發揮していますが、我々東京県人会が果たしていく役割なり、東京はじめ首都圏に対する期待の大きさについて、どのように受け止めておられますか。

#### 四年目の「ここ滋賀」への期待

小林 「ここ滋賀」ですが、三日月知事のご出席の下、オープンしてから昨年十月で丸三年が経ちました。コロナ禍により現状は困難な状況にあるものの、滋賀県出身の方々のみならず、東京や首都圏の多くの人達が、物産品の購入、レストラン・滋乃味の利用、そしてこれまで開催されてきた多くのイベントや企画に参加するために来られています。東京は日本の政治・経済、そして多くの点で日本の中心であり、また首都圏に住む人も極めて多く、「ここ滋賀」は、滋賀県の情報発信拠点及び物産品の販売拠点としての最も重要な役割をしっかりと果たされているものと理解しています。

その中で、我々東京滋賀県人会としても、今後とも「ここ滋賀」とご相談しな

がら、ふる里滋賀県の魅力を伝える「ここ滋賀」に協力する形で色々な企画を考え、そしてまた県人会会員に喜ばれるようなイベントや企画を行っていきたく思います。

塚本 「ここ滋賀」については、物産販売のみならず、滋賀県の魅力を情報発信していく役割が大きい。私は「ここ滋賀」で開催するAKINDO塾に関わっています。最近ではコロナの影響もあり、中々リアルに集まるのは難しいが、オンラインを活用しながら開催しています。

昨日も「ここ滋賀」に立ち寄ったところ、近江商人の展示がありました。パンフレットも配布され、近江商人の魂というか、「一番大事にしているのは何なのか、ルーツを探って、近江商人の真髓を紹介されています。滋賀県の人達の考え方の原点は「三方よし」でやっていくという精神。東京でこの考え方をアピールしていくことは、非常に大事です。県人会の会員だけでなく、会員以外の方々にも発信していきたいと思えます。

内田 「ここ滋賀」は首都圏情報発信拠点であり、東京滋賀県人会にとって憩いの場でもあります。物産販売のモノコトに加え、もう一つ大切なのはヒトだと思えます。これまでも「ここ滋賀」でイベントを開催したことによって、新しい出会いも増え、増員、特に若い世代の会員も徐々に増えてきています。今、地方創生でも「関係人口」の言葉をよく耳にしますが、県人会も、滋賀出身者だけでなく、滋賀に行ってみたい方、滋賀に興味がある方、滋賀と繋がりたい方など、「滋賀」をキーワードに色々な方にご参加していただき、様々な意見を取り入れ、会



の存続、活性化に繋がればと思います。また、「ここ滋賀」とも手を携え、滋賀県へ人を誘い「ここ滋賀」利用者や滋賀ファンを増やしてゆけるような相乗効果が得られればと思います。

今後もポジティブでウキウキワクワクするようなマッチングイベントや魅力発信イベントを「ここ滋賀」で展開し、滋賀県にそして県人会に関わって良かったと一人でも多くの方に感じてもらえることを第一に考えてゆきたいです。

#### 全員参加の県人会を目指して

司会 皆様、ありがとうございます。内田さんには、若い人や女性に通じる感覚で、なお一層、県人会活動が盛り上がるよう、是非、県人会を引っ張っていただきたいと思っています。

県の期待に添えていくことも県人会の大きな役割の一つですが、県人会活動の基本は、会員のためのものであろうと思っています。昨年八月、静永前会長から引き



継がれ、新しい体制がスタートしました。他方、首都圏で会員増強が進んでいる埼玉、千葉などの状況を伺うと、会員の皆さんが県人会活動に参加して良かったと満足感を感じていただけると、活動や創意工夫が必要不可欠のように感じます。

昨年は会員の皆さんから今後の県人会活動に対する意見を伺うアンケート調査を実施しましたので、今後、これらを活かした県人会活動にしていきたいと思っています。とはいえ、コロナ禍の中、イベント開催や会報誌など、色々と苦勞されながら、県人会活動をされておられますが、その苦勞話の一端や、今後の東京滋賀県人会の取り組み方針について、会員の皆さんにお知らせいただけますでしょうか。

塚本 会員の皆さん方にできるだけ喜んでいただける県人会になることは、大変大事だと思います。それとともに、東京の周辺の県人会との連携も非常に大事です。他の県人会では、例えば、見学会を催したり、滋賀に旅行に行くとか、色々な良い試みをやっておられ、東京も相互乗り入れする形で、できるだけ関東ブロック全体でいろんなイベントをやって東京の会員の皆さんにも参加いただけるようにしていくことも大事かと思っています。

小林 今、塚本さんが言われたように、東京だけで考えるのではなく、関東ブロック全体で考えていきたいと思っています。また、県人会としての魅力をいかに高めていくか、皆で考え、協力し合って行動し、東京のみならずブロックでも知恵を出し合い、色々なイベントも相互乗

り入れを進めていきたいと思っています。

二つめは、我々事務局から各会員への一方通行ではなくて、会員の皆さんからも投稿や質問を頂いたりして、皆さんと双方向での意見や情報のやり取りを進めていきたいと思っています。その為にもホームページを充実させ、会員の皆さんから投稿しやすいように作り替えていきたいと思っています。また会報誌でも、一方的な情報伝達とならず、会員の皆さんの声を聞ける仕組み作りを今後とも考え、実行に移していきたいと思っています。

三つめは、内田さんがやってこられた「東京しがらみ会」、女性の会に男性も入ったり、楽しい意見交換会のような場を作る。他方で、今色々なところで検討してもらっている趣味の会、スポーツの会という切り口で、これも関東ブロック共通の場を持つていきたいと思っています。

現在の埼玉県人会は、多くの会員の参加者を得て、様々な活動を実行されています。これを東京、関東ブロックに広げていくというのが、絆を広めることになると思います。

司会 ありがとうございます。東京県人会も大きく変わろうとしている訳ですね。言い方を変えれば、よりフラットで、より会員の皆さんに近い県人会を目指していると言えるのかもしれない。それがアンケート調査や会報誌の刷新、さらには一般会員向け事業の開始検討など、キーワードは「会員満足度アップ」ということになるのかもしれない。最後に、今回の新春対談を締めるに当たり、小林会長から、会員の皆さんに締めとなるメッセージをお願いします。

小林 冒頭でも申し上げましたが、引き

続き新型コロナウイルスの関係で、県人会活動も自粛を余儀なくされ、もう少しこの状況が続くものと考えております。みんなでもう少し自粛や我慢を重ね、そしてまた晴れて県人会の色々な公式行事やイベントで、是非お会いしたいと思っています。

県人会の現在の体制は、昨年八月末の総会で発足し、新たな方針として、県人会活動の積極展開、会報誌や公式ホームページの充実化、そして会員の皆様とのコミュニケーションを緊密化するための事務局の強化を定めました。

残念ながら、コロナ禍により恒例のイベントは中止を余儀なくされていますが、一方で広報誌や公式ホームページ等の広報関係については、従来以上に充実しつつあり、皆さまに喜んでいただけていないかと思っています。

コロナ禍の中でのイベントについては、できる限りオンラインを活用したりモット参加を増やしていきたいと思いますが、一方で、会報誌やホームページについては会員の皆さんの投稿記事やご意見・ご質問をお寄せいただきたいと思います。「会員満足度アップ」というよりも、言わば会員の皆さんを含めた「全員参加型」の県人会にしていきたいと思っています。どうぞ、いつまでもご健康で、お元気で過ごしてください。

司会 本日は、どうもありがとうございます。

(司会・常務理事 安村幸夫)

令和三年一月二十七日

LINEにてオンライン対談



## 第三十二回琵琶湖夢街道 大近江展

三月二十四日(水)～二十九日(月)にかけ、日本橋高島屋本館八階催会場で大々的に開催予定。鮎すし・近江牛はじめ郷土の旬の食材・近江のお茶・地酒・和菓子などの魅力あふれる食品からぜひ手元に置いておきたい伝統工芸品まで、厳選された良品が勢ぞろいします。皆さまお誘い合わせの上、ぜひ足をお運びください。

## 月例法要のご案内

東京滋賀県人会の関係者で亡くなられた方々はじめ、古くは故郷に帰る夢を絶たれ、首都圏で亡くなられた先輩諸氏の霊を慰めるため、月例法要が始まりました。毎月第一木曜日(一・八月を除く)十四時から、東京滋賀県人会ホールにて行っております。ぜひお越しください。

令和三年は、四月一日、五月六日、六月三日、七月一日、九月二日、十月七日、十一月四日、十二月二日に開催する予定です。

※コロナ感染症の動向により、中止する場合があります。

## 空家バンク

県人会は、滋賀県下の「空き家」の仲介(無料)をしています。空き家の所有者・管理人から「空き家情報」の申し出を受け、空き家情報を東京はじめ近隣の各県人会の会員に紹介しています。

## 善男善女のお申込み

善男善女の縁結び、お写真を承っております。お気軽にご連絡ください。四十・五十代の出会いも応援しています。

## 鮎の会

毎月第一火曜日を定例開催日とし、滋賀に所縁のあるマスコミ各社、滋賀県、ここ滋賀、さらに首都圏の各県人会が一堂に会し、イベントの実施予定など周知情報を持ちより、首都圏での情報共有化、マスコミへの取材要請などに努めています。最近ではコロナ禍で緊急事態宣言が延長され、暫くの間、開催自粛状態となっております。

## AKINDO塾

塚本東京滋賀県人会副会長を熟頭に、会員同士の人脉形成、ネットワークの構築、知識の向上の支援を目的として各界から講師をお招きし、講演会を開催しています。令和二年十一月六日(金)十五時より、第十一回AKINDO塾を「ここ滋賀」二階レストラン「日本橋 滋乃味」において開催いたしました。

大杉栄嗣氏(大塚オーミ陶業株式会社代表取締役社長)を講師にお招きし、「大塚国際美術館の魅力と焼き物の可能性」をテーマに、焼き物による文化財などの複製制作にも長年携わってこられた経験に基づくお話や、「大塚国際美術館」所蔵の陶板画(世界の名画)及び同美術館の開設などについて興味深いお話をお聞かせいただきました。

コロナ禍の中、出席者を座席数の約半分の十六名に制限しましたので、その他の聴講希望者は、ZOOMによる配信を視聴されました。講演要旨は県人会ホームページ「いま滋賀」に掲載されています。



## 幹部会

令和二年七月一日(水)を皮切りに、毎月一回ペースで会長、副会長や専務理事、常務理事等が当会の主要活動の推進や組織強化、全滋連、関東ブロックへのかかわり方などを議論する幹部会をスタートしました。現在まで、「ここ滋賀」などにおけるイベントの推進、会報やHPの改善策が具体化されています。

## 関東ブロック滋賀県人会意見交換会

関東ブロックの各県人会は、東京滋賀県人会長を代表世話人とし、東京、埼玉、千葉、神奈川県を中心に、会長会議や副会長・理事レベルの実務者会合を開き、ブロックとして結束した取組みを強化しています。最近では、全滋連活動への取組方針や、オンライン参加も含めた「ここ滋賀」等でのイベント実施協力・相互乗り入れ、東京のHP「いま滋賀」に掲載する投稿記事特集「関東だより」への協力などを協議してきました。コロナ禍の中、関係者でフェイス・ツー・フェイスの会合を開くのを自粛し、メール協議に切り替えた実施方法で行うなど、

工夫を凝らしています。

昨年は八月五日(水)、十月六日(火)に会長会合、十一月十日(火)に実務者会合を開き、目下の課題について意見交換を行いました。

## 「ここ滋賀」等のイベント

### ●甲賀の抹茶でもてなす「ここ滋賀」テーブル茶会

日本最古級の歴史を持つ甲賀のお茶の魅力と信楽焼を深く理解してもらおうためのイベントで、毎回少数のお客さまを迎え、甲賀の抹茶でもてなす素敵な催しです。

日時 令和二年九月二十七日(日)、十月十八日(日)、十一月八日(日)、十一月二十三日(月・祝)、十二月二十日(日)、令和三年一月十七日(日)  
 毎回十五時～十六時三十分  
 場所 「ここ滋賀」二階「滋乃味」

### ●ここ滋賀オンラインキッチン

滋賀の食文化を継承し魅力発信に尽力されている事業者の方の支援をいっつ、滋賀由来の食の振興と交流を行うイベントです。三日月大造滋賀県知事のビデオメッセージのあと、「近江牛の歴史と江戸の食文化」と題し、寺出昌弘氏(株式会社近江屋牛肉店 代表取締役・当会審議役)がお話しされました。

その後、「滋乃味・高島料理長によるライブクッキング」が披露され、次いで飲食・質疑応答で、調理を実践し動画で配信するなど、リモート参加者、現地参加者の交流が良好な形で行われました。Facebookによる実況やマスコミの取材もありました。

日時 令和二年十月三日(土)  
 十五時～十六時三十分  
 場所 「ここ滋賀」二階「滋乃味」



### ●GoTo甲賀市キャンペーン

国の施策と、都民の旅需要が高まる時期に、甲賀市へと足を延ばしていただくことを促進するためのイベントです。観光、焼物、忍者、食材、地酒、お茶など、甲賀市の魅力を広く紹介する良い機会となりました。  
 日時 令和二年十月十六日(金)～十八日(日)(昼、夜)



場所 「ここ滋賀」二階「滋乃味」

●甲賀市物産展@木挽町広場

市川海老蔵さんの新春歌舞伎「N I N J A K A B U K I」で歌舞伎とご縁があった忍者の里・滋賀県甲賀市。甲賀市の期間限定アンテナショップとして開催しました。

甲賀市は忍者と信楽焼が日本遺産に認定され、またNHK朝の連続テレビ小説「スカーレット」の舞台になった地でもあります。

日時 令和二年十二月十五日

日(火)～令和三年

一月十四日(木)

九時三十分～十八時三十分

場所 歌舞伎座地下一階 木挽町広場



●歌舞伎座@ここ滋賀コラボ企画 大津絵ギャラリー

中村勘九郎さん主演の大津絵の絵師・浮世又平が主人公の演目「傾城反魂香」が十二月大歌舞伎で再演されたことを記念して、「ここ滋賀」二階特設スペースにて大津絵展が開催されました。また、歌舞伎座地下一階のお土産売場「木挽町広場」にて、「ここ滋賀」のPRコーナーが設けられました。

日時 令和二年十二月十一日(金)～十二月二十五日

(金)

場所 「ここ滋賀」二階特設スペース 歌舞伎座地下一階 木挽町広場

●花のまち守山プロジェクト

歌舞伎座木挽町広場×守山市

日本文化発信拠点「歌舞伎座」を活用した新たな守山市の情報発信事業です。

全国でも有数の薔薇の産地、滋賀県が誇る守山市の薔薇。コロナ禍において少しでも人々の癒しに



なればと、歌舞伎座地下一階木挽町広場入口の一等地に飾っていただき、通りがかりの人たちに笑顔になっていただきました。

日時 令和二年一月十六日(土)、十七日(日)の二日間

場所 歌舞伎座地下一階 木挽町広場

理事会・総会のご報告

令和二年七月三十日(木)十二時～十四時 アットビジネスセンター八重洲にて理事会を開催。ZOOMによるリモート参加を可能にしたため、出席者十八名中リモート参加は七名を数え、令和元年度決算、令和元年度事業報告・令和二年度事業計画などを審議しました。

令和二年八月三十一日(月)十四時～十六時 アットビジネスセンター八重洲にて総会を開催。正会員の四分の一以上(委任状提出者を含む)が出席。約十名の役員や会員がリモートで参加されました。

令和元年度決算、令和元年度事業報告・令和二年度事業計画の審議のほか、新任理事・監事選任や退任役員紹介、新審議役の紹介などを行いました。

総会終了後直ちに同所で理事会を開催し、役付き役員を選任を行い、新任会長が挨拶を行いました。

お声掛け運動

平成三十(二〇一八)年十月より、事務局から七十五歳以上の会員(百名弱)の方にお電話による「お声掛け運動」を実施(不定期)し、今までに、おおよそ対象者に十巡ほどお電話をかけました。

毎回半数程度の方とお話しすることができています。その中には、ふるさと懐かしさのあまりの心情をもらされる方や、県人会活動(お送りした会報など)に対するご意見をおっしゃる方がおられました。

うかがえたお話の一例…

・県人会会報(西国三十三所観音巡礼やお祭りの特集など)を楽しみにしている。ふるさとのことを思い出し感慨にふけっている。

・毎年の日本橋高島屋「大近江展」を待ち望んでいる。最近では「大近江展」に行った後、「ここ滋賀」に寄るようになってきた。

・朝ドラの「スカーレット」を見て、懐かしさを覚える。大河ドラマ「麒麟がくる」をわくわくしながら見ている。

一方、健康に対する関心事については、ジム通いや散歩のことなどを話される方もいらっしゃいました。最近では、コロナ禍で外出しづらく、思うように動けないことをこぼされる方もおられました。

高齢によりお体が弱ってきている状況などを述べられる方や、ご本人はホームに入っていることを家族の方が話されるケースもありました。一部に例外はあるものの、総じてお電話を掛けると喜んでお話しいただけます。会報等の紙媒体の送付については、まだまだニーズがあることを確認いたしました。

東京滋賀県人会事務所への主な訪問者

令和二年十月六日(火)

関東ブロック滋賀県人会意見交換会

千葉、埼玉、神奈川、東京の会長や役員など

令和二年十一月四日(水)

びわこビジターズビューロー 沖部長

令和二年十一月十日(火)

竜王町 岩田課長

滋賀県東京本部 東本部長

関東ブロック滋賀県人会意見交換会

千葉、埼玉、神奈川、東京の会長や役員など

令和二年十一月十八日(水)

日野町 堀江町長、正木課長

令和二年十二月一日(火)

埼玉滋賀県人会(会報・HP担当) 福井さんが同席

近江牛岡喜 岡山代表(日本橋コレド新規開店挨拶)

滋賀県東京本部 會田副本部長、池内課長代理

令和二年十二月九日(水) (株) 大生産業 梅村社長

令和三年一月二十八日(木)

滋賀県東京本部 東本部長、會田副本部長、西村課長代理

令和三年二月十六日(火)

びわこビジターズビューロー 西川専務理事、沖部長



# 「埋木舎」時代の文化人・井伊直弼公

埋木舎当主・駒澤大学名誉教授  
大久保 治男



埋木舎全景

曲（鼓の音）に通じた文化人直弼に対し、愛情と尊敬の念による呼称であらう。これらの基礎には禅の修業と心（清凉寺の参禅で仙英禅師より袈裟血脈を授与された）があったのである。この他、埋木舎時代には国学、書、画、楽焼、湖東焼、華道等は達人の域であり、勿論、武士であるので武術、馬術、柔術、弓術、兵法等文武両道の修練に一日四時間眠るだけで足りると埋木舎で励んだのであった。

特に茶の湯では昨今、井伊直弼は茶道界でも有名である。

埋木舎の茶室「澍露軒」において、「茶の湯一会集」を記し、「一期一会」「独座観念」「余情残心」「和敬静寂」の極意を大成する。「眞の茶道は心を修練する術で、貴賤貧福の差別無く、自然体で常時心静め楽しく喫茶する修業」と「入門記」で述べ、「一会集」では「茶の湯の交会は一期一会といひて、たとへ幾度おなじ主客交會するとも、今日の會にふたたびかへらざる事を思へば、実に我が一世一度の會也」と述べ

「主人は万事に心を配り、深切実意を尽く客を持て成すべし」とする。さらに「余情残心」「独座観念」「和敬静寂」の極意を大成し、茶名は「宗観」とも「無根水」とも号した。

武人としての直弼は居合術で「新心新流」を創設し「勝を保つために滅多に刀は抜いてはならぬ」といって「保剣」とした。

三十二才で兄・直亮の養子となり、藩主、大老となって開国や国際協調の立派な政治を行う基礎は正に埋木舎時代の人格形成があったからである。

直弼はこの公館を「世の中をよそに見つとも埋もれ木の埋もれておらむ心なき身は」と詠んで「埋木舎」と名付けた。

直弼は後世「茶・歌・ボン」というあだながつけられた。即ち、茶の湯、和歌、謡

藩主となってすぐ十五万両も領民に頒け与え、領内総てを巡視して領民の悩みを聴き良い方向に即決し、能力ある人材登用も

行ったという名君であった。



茶室「澍露軒」



井伊直弼（大久保家所藏）  
大久保新右衛門忠正武者絵

嘉永六年（一八五三）六月、アメリカ使節ペリー提督が軍艦四隻を率いて浦賀に来航、鎖国日本の開国と貿易修交を迫り国内騒然となるも、直弼は「別段存寄書」で堂々と開国を主張した。「鎖国をやめ、開国し世界と貿易し、各国と平和的に国交する事こそ天下の大道である」と述べ、「漂着民には食糧、水、石炭の補給をして帰還させることは人道上当然である」と国際協調を論じ、安政五年（一八五八）大老就任後には開国シアジアで唯一我が国は欧米の植民地にならず国難を救ったのである。

また、「公用方秘録」には「……兵端を開き幸に一時勝を得ても海外皆敵とすれば勝てない。敗れば地を取られ国辱大である」とも述べている。

この様な立派な決断に対し、反幕府、倒幕を目論んでいるテロリスト・水戸や薩長の下級武士達によって直弼は万延元年（一八六〇）三月桜田門外で暗殺され、それ以降、幕府は衰退し薩長を中心とす

## 「埋木舎保存に大久保家代々の奮闘」

る明治政府が作られるのである。

直弼は桜田門外の変の二か月前「あふみの海磯うつ波のいく度か御世にこころをくだきぬるかな」と嘆き、また一日前に「春浅み野中の清水氷いて底の心を汲む人ぞなき」と自分の善政を理解しないテロリスト達に落胆して命を落としたのである。

井伊直弼の人格形成と一体となっている「埋木舎」は今日迄、直弼居住のままの姿で残っているのである。筆者の曾祖父・大久保小膳は、旗本より彦根藩創設時、徳川家康の命により彦根藩目付として派遣され初代井伊直政を迎え、代々藩主側近に居る重役として務めた。初代大久保新右衛門より十代目に当り、直弼の時代も藩主側役として務めて行動も共にしていた。直弼の学問や茶道の御相手役でもあり、「宗保」の号も賜る。桜田事変の時は正使として江戸より彦根まで早籠で四日で急を知らせ水戸への仇討も止める。また直弼の御子・十三才の直憲の藩主には「親父」といわれ、幕末・維新の大変革期に常に行動を共にしていたのである。

明治四年（一八七一）小膳は藩公文書の秘密裏の保存。彦根城郭解体の新政府の命に抵抗、土方内務大臣に懇願して例外として天皇の特令で天守閣の保全を守った等の功績により直憲より藩庁文書にて「埋木舎」は大久保小膳に贈られ、以来百五十年、大久保家代々が困難（水害、虎姫大地震、護国神社境内拡張のため接収の憲兵をも使った軍部圧力等）を排し埋木舎を死守することとで、直弼の偉大な遺徳を偲ぶ縁としていて筆者で五代目となる。

老朽化した埋木舎南棟は昭和五十九年冬、近江地方の未曾有の豪雪での倒壊を機



に五年計画にて二億円（国公費の援助も受け）かけて直弼の時代そのままにしっかりと修復され、平成三年（一九九二）より一般に公開された。個人所有のため、管理、警備、清掃等毎年赤字は背負いながらも平成三十一年迄に約四十万人の見学者が訪れ、昨今は、茶会や書道展や筆者の「文化人直弼」に関する講演会等が開かれ社会貢献をしながら、直弼の十五年間の埋木舎時代の文化的修業が元老になって偉大な決断をされた礎となったことを見学者も肌で感じ直弼の眞の評価がなされていることは喜ばしいことである。

因みに、昭和三十八年（一九六三）NHK大河ドラマ第一作「花の生涯」は直弼の埋木舎時代にスポットも当てられていた。

滋賀県人会の皆様も彦根藩主・井伊直弼の眞の姿。近江の偉人。国難を身を以って排し国際協調の礎となった井伊直弼を再評価していただければ有難いと思います。

「埋木舎」は昭和三十一年に彦根城跡が国の特別史跡（文化財）となった時その一部に含まれている。

令和二年より、彦根城跡一帯を「世界遺産」に指定されるよう、ユネスコに対しても推進運動が彦根市と滋賀県が一体となって運動し始めた。

その応援団として滋賀県人会の皆様も



埋木舎 玄関



埋木舎 御居間

## コロナ禍と観光

同志社大学・政策学部教授  
井口 貢



賀県庁文化財保護課・彦根城世界遺産登録推進室（大津市京町・077-528-4682）へお電話して「千人委員会」のメンバーになって応援していただければ有難いことです。（埋木舎当主より言われたとおっしゃってパンフレット等送ってもらってください）

埋木舎の詳しいことは、ウェブサイト <https://www.umoreginoya.com> を御覧ください。また一般のネットでも「埋木舎」や関連の「大久保治男」（埋木舎当主）の

### 観光再考

新型コロナウイルスによる災禍は、その収束そして終息の出口すら見えず、二度目の緊急事態宣言が新年早々に発出されました。あらゆる産業と業界がその規模の大小に関わらずに大きな被災を受けています。

僕は長きに渡って京都の大学で、地域文化と地域観光の関係性を中心に、学生たちとともに学んできました。コロナ禍の影響は観光関連の分野でも甚大なものがあります。実は、観光に関わる教育と研究の末席を汚すことになった30年近く前から、僕には忸怩たる思いとディレンマのようなものがありました。

2000年代の冒頭から、小泉純一郎元総理の「観光立国宣言」の影響もあり、観光はわが国において、大きな経済効果が得られるものとして認識され始めたように思っています。「観光」とは「経済政策」のひとつであるかのような認識も広がり始めました。

僕の忸怩たる思いは、とるに足りないものであるかも知れませんが、「本当に観光とは経済政策なのだ」と言い切ってしまった。とても良いのだろうか、ということでした。もちろん、観光が地域経済にもたらせる波及効果を否定するわけでは決してありません。しかし、経済効果を狙って観光の仕組みを構築すること、とりわけ安普請するかの如く仕立て上げられた「観光擬き」を手段として、安易に即効的な経済効果を得ようとする行為が、本当に地域社会とそこに住まう人々を幸福にできるものであろうかという懐疑の念がどうしても捨てきれなかったのです。あるいは、外国人

観光客の懐に過度なまでに依存することが、真の意味での観光立国の道となるのかという疑念でした。コロナ禍に瀕したいま、きっといつかは終息する日のために、今こそ観光の在り方を再考しなければならぬのではないのでしょうか。

### 文化と人文知なくして観光なし

「観光」という言葉は、もともといわゆるやまと言葉であったわけではありませんが、中国の古典「易経」の一節、「観国之光」からとったもので、それは徳川13代將軍家定の時代の造語であったといわれています。ここでいう「光」とは「文化資源」のことと考えてよいかと思えます。とりわけ生活文化の歴史の中で人々が大切に思い、伝え、そして新たな創造をも忘れることなく工夫しながら継承してきたものといわれてよいでしょう。それらは、決して短期間で得られる「費用対効果」という言葉に収まるものではありません。

そしてそれらを育んできたのが、人文知だと思います。観光を語る文脈のなかでしばしば、「いかにして観光客にお金を落とさせるか？」という言葉が使われますが、これはまさに人文知とは遠くかけ離れた言葉ですね。

アフターコロナのために、今こそ読書の旅を！人文知を育む大きな力となるものの一つに、読書力があると僕は思います。碩学・柳田國男は「青年と学問」（一九二八年）のなかで、旅行の価値基準は本を読むことと同じであるという趣旨のことを述べています。良い旅行と良い読書は、ともに



旅の途上にて  
(柳田國男の邸宅：東京成城から飯田市に移築)



旅の途上にて（水見市役所にて）



# 日本を変えた国友鉄砲の 歴史と科学性



長浜市 市民協働部 学芸専門監  
太田 浩司



火縄銃 長浜城歴史博物館蔵

自分一人のみを良くするのではなく、社会全体に「新たなもの幸福なるものを齎し得る」と。  
また、高度経済成長期に『街道をゆく』の連載を始めた(1971年)司馬遼太郎は、この作品群を通して、流行や模倣、そしてスクラップアンドビルドに翻弄され、地域社会の真の文化資源が音を立てて崩れて行こうとする時代に、大きな楔を打ちこもうとしました。

「書物で旅することは、なまなかに現実を旅するよりはよい。……筆者のゆたかな感性をたどって、景色の内側の本質にまで入ってゆけるからである。人が人の世を深く過ごすことには、すぐれた人達の感受性にたよるしかない。」  
コロナの時代に雌伏するようにして、とりわけ碩学たちの書を読み解く旅は、終息の暁には、ホンモノの文化資源の大切さと人文知の認識を基本に据えた、より良き観光のための新たな道が、きつとわが国に開かれていくものと信じたい。

大河ドラマ『麒麟がくる』が終わった。2月7日の最終回では、果たして明智光秀によって麒麟(平和な世のしるし)が来たのか、来なかったのか？

もう一つよく分かりませんでした。ドラマは「本能寺の変」を中心に盛り上がり終りました。光秀生存説を少し取り入れたことには、少々驚かされましたが、NHKは天海になったとも言おうのでしょうか？

それはともかく、今回の大河ドラマで話題をさらったのは、国友鉄砲鍛冶です。戦国時代から江戸時代、さらには近代まで続く、現在の長浜市国友町で操業していた鍛冶集団です。

大河ドラマ『麒麟がくる』でも、主君である斎藤道三に命じられ、明智光秀が鉄砲を求めて近江の国友村や京都にいた国友鉄砲鍛冶の伊平次を訪ねるシーンがありました。織田信長の口からも国友鍛冶の名が語られていました。

国友鉄砲の鍛冶屋場を再現するため、長浜市鍛冶屋町で市指定文化財となっている

鍛冶場でも、大河ドラマの口ケが行なわれました。国友町の国友鉄砲の里資料館は、このコロナ禍のなかでも、今年度は例年の2、3割増しのお客さんで賑わっています。  
この国友鉄砲鍛冶の起源は、鍛冶師の家に伝わった「国友鉄砲記」という史料によって、室町時代に足利将軍家から命じられて、種子島への鉄砲伝来の翌年に当たる天文13年(1544)から操業が始められたという説がとえられてきました。大河ドラマ『麒麟がくる』でもこの説に従って、物語がつくられています。

私は最近、江戸中期に纏められた「国友鉄砲記」の記事は、歴史的に信用しがたく、その起源は、戦国大名浅井氏が意図的なのが起源だという説を、『銃砲史研究』(第391号)という専門誌に発表しました。

歴史学では「国友鉄砲記」のような後代に編まれた歴史書を編纂物と言って、史料としては二次的に扱います。それらは、事件が起きてから50年後、あるいは100年後、200年後に編まれたものです。後世の人々によって、書き換えられた可能性が

あります。たとえば、江戸時代には当然、徳川家優位に書き換えられます。  
歴史学では、この編纂物になるべく頼らず、当時やり取りされていた古文書(手紙の部類)によって、歴史を構築する手法を最善と考え、これら古文書を一次史料として尊重します。当事者同士でやり取りされた古文書は、贗物でない限り決して嘘はつかないからです。

国友には「国友助太夫家文書」という文書群の中に、羽柴秀吉や石田三成が国友鍛冶へ宛てた文書が残っています。これらを一瞥ぎ合わせることで、国友鉄砲鍛冶の「真

の姿が浮かんでくるのです。また、浅井氏の時代に北近江で鉄砲が使われていたこと、隣国越前の朝倉氏が国友鉄砲を贈答に使用していたこと、これらから戦国大名浅井氏が国友鍛冶の創始に関わっていたことを、一次史料から導き出したのです。

教科書や大河ドラマについても、歴史的な叙述は、少しずつ歴史学の発展にもなって改められていかないと、それこそ時代に取り残されます。我々歴史学を学ぶ者としては、真実への取り組みを、絶えず世に問い、徐々に「真」の歴史を浸透させていく義務があると思っています。NHK大河ドラマが国友鉄砲を取り上げてくれた好機だけに、敢えて従来の考え方をまとめて、この論文を執筆した次第です。

鉄砲の歴史は、戦国を変えた武器として非常に重要です。大坂の陣は、この国友鉄砲の活躍が、徳川家康を勝利に導いたと言っても過言ではありません。しかし、視点を変えれば、鉄砲の歴史は、戦国から江戸時代に至る日本の科学技術の進歩を象徴するものでもあるのです。

火縄銃は銃身の底をネジでとめる必要があります。火縄銃の導入は、日本に初めてこのネジという工業部品が導入されたことを意味します。「引き金」を引くと、「火ばさみ」がおち、弾丸が発射するという機関部の仕組みはカラクリと呼ばれますが、それは機械そのものです。そこには、バネという工業部品が使用されています。「火蓋をきる」の語源の「火蓋」という部品も銃身に取り付けられています。こう考えれば、鉄砲(火縄銃)は、当時の科学技術の粋を集めた工業製品なのです。国友鉄砲は、歴史的にも科学的にも滋賀県としては誇るべき文化財です。是非、長浜市の「国友鉄砲



の里」を一度訪れてみてください。  
国友では江戸後期に国友一貫斎という科学・技術者も出しています。日本で初めて反射望遠鏡を製作した人物として著名です。また、機会があれば、一貫斎についてもお話しできればと思います。

## 抱辛と我慢に負けないコロナ

会長 中村 浩  
千葉県賀賀県人会

東京滋賀県人会への入会は、昭和59年3月2日の正会員費納入から始まった。正式には昭和58年度の会費である。38年も昔の県人会との関りのスタート。

当時は千葉、埼玉を含む東京滋賀県人会であり、横浜滋賀県人会、群馬、栃木、茨城、山梨はそれぞれ県名は付けないがそれぞれの地名を名称として活動していた。

静岡については、全国滋賀県人会連合会にも会員登録をしていない時代であった。

そんな昔のある日、当時の東京滋賀県人会会長である西川五郎様から、八幡商業高校の同窓会名簿から在京の皆様へ県人会創立35年を迎えるにあたり新しい会員を募集することになり、是非友人を含めて多数の八商の若人を迎えたい、会としての趣意書、歴史、活動状況など誰もが入りたくなるような言葉が並んでいた。

当時の西川五郎会長は西川産業株式会社社長として財界にご活躍の時代で、専務理事は国領嘉一様、会員は3000名を超える大所帯であり、当時私は若干45歳の若造、

全く役に立たない会員で受け付けの手伝いなど雑用をした思い出が残っている。

東京中央区月島に本社を構える旭倉庫株式会社が在任中、相棒の奥田修様は近江タイルの常務取締役、現在埼玉の重鎮である前川一郎様は東京トヨベツト深川営業所所長として活躍中、そしてお誘いを受けた八商のメンバーから課長クラス20名近い方々が会員として入会した。

そして現在、会長、役員、会員皆様いろいろの出身は変わったが、故郷滋賀を懐かしみ楽しむ会員の気持ちは同じ、去っていった人、亡くなった方々、そして新しく入会された人々。東京から分かれて、埼玉、千葉それぞれに県人会が誕生して14年。横浜滋賀県人会から神奈川県滋賀県人会に名前が変わり10年以上の年を重ねた。

私自身、当時労務課長として労働組合との対応に追われていたが、総務部長を経て平成6年より関連会社の代表取締役として現在に至っている。27年に及ぶ社長業の経験である。さらに滋賀県立八幡商業高等学校の同窓会「近江尚商會」会長として令和元年より母校の継続と商業教育の重要性の再考のためのお手伝いをさせて頂いております。八商創立140年、学校はまもなく大台を迎えるが近江尚商會（同窓会）も創立130年を迎える。

千葉滋賀県人会はこの一年コロナウイルスの影響で活動休止が続く中、じつと我慢と辛抱を重ねその時を待つ。そして活動を再開した暁には新しい新入会員の誕生が待っている。千葉滋賀県人会は130名の会員維持に努め、減少分を補充する小さな努力が将来大きな力となって戻ってくることを願いコロナの攪乱を乗り越えて行きたい。

## 自然に帰れ

会長 山田 正  
千葉県賀賀県人会

この言葉は1712年生まれのルソーが言った言葉である。1755年に10万人の死者を出すリスボン大地震が発生し、ヨーロッパに衝撃が広まった。ルソーは地震の災厄が深刻化したのは神の非情さではなく、都市の過密によるものであり、これは人災であるという見方を提示した。文明への過度の依存が持つリスクに対して警鐘を鳴らすと共に、自然と調和する事の必要性を説いた。

命が始まる。  
私が上京した翌年（1964年）に東京の人口は1000万人を突破、そして昨年の4月に1400万人を越えた。この半世紀で400万人も増えた事になる。

天気予報の直前にスカイツリーからの東京の全景が放映されることが多いが、私はあの場面を見るたびに、「もし直下型地震が起きたらこの家はどうか？」「荒川が氾濫したらどうか？」と心配で見おれない。流石にこの半年間は東京近県に移住する人が多く、少し人口が減っているようではあるが、都心に近いタワーマンションの売れ行きが好調で、中古マンションでも新築時の倍の価格で売り買いされているという。もうそこには自然は全く駆逐され、農業など雲の上の話になってしまった。

首都だけが栄え、地方が衰弱していく図は今に始まったわけではなく、世界の歴史を見ても、人口がいびつになると戦争と疫

病がはやり、人口調整を繰り返してきた。たとえこの新型コロナが収束しても、自然界には最大82万種類のヒトに感染する可能性を持つ未知のウイルスが存在すると分析結果を最近世界の科学者が発表した。

森林伐採をはじめ土地利用の変化や食用や薬用のための取引・消費などによって、野生動物や家畜、ヒトの間で接触が増えているのが原因だという。

一年に及ぶ自粛生活を強いられてきて、「この先どうなるのか？」「いつまで続くのか？」「自分が今している日常生活がそのままでのよいのか？」「国や年金がこのまま持つのか？」「自分はもういいが、子供達はどうなるのだろうか？」と精神的ストレスは深まるばかりである。それは今行っている自分の行動がならこれら問題解決につながるっていいことを知って益々不安が押し寄せて来るように思う。

農作業は辛い場面もあるが、苦勞の代償として食べ物を提供してくれる。家族では食べきれないくらい恵みを与えてくれる。生ごみは全て畑に戻して循環型農業をしているので資金ショートして頓挫することも無い。マルチも行わない。草を生やして草取りをしたいから。防寒には古畳を解体して藁を敷いてやりタマネギ、ニンニク、ラッキョウ、キヌサヤたちは厚手の布団をかぶって大喜び。

化成肥料は使わない。金がかかるのとメタボの野菜を食べたくないから。

こんな我がままを何十年と続けて来ても、誰からも批難を受けないのが嬉しい。

埼玉在住の皆さん！1月の市報の市民農園募集の欄を見て申し込みましょう！



さとうかまもと  
茶陶窯元

# らくにゆうとう ぼう 楽入陶房

## たいちゆうらくにゆうとう ぼう こちゆうあん 太丑楽入陶房壺中庵

信楽焼の歴史は千二百余年前に遡ります。聖武天皇が紫香楽の宮を造営された当時に始まったといわれ、鎌倉・室町時代より主に種壺・搦鉢などの農雑器が作られていました。その後、茶道の興隆に伴い茶器の製作も起こり、紹興信楽・利休信楽・宗旦信楽・遠州信楽・空中信楽など侘茶陶として茶人たちに広く親しまれてきました。

初代楽入（岩城兵衛）は、大阪より信楽の地に入ったことから楽入という陶工名で松尾窯を開き茶陶を製作しました。これが壺中窯の始まりでした。

### ●壺中窯 保庭楽入 略歴

二代楽入（明）は昭和四年（一九二九）、長野県南木曾町に生まれ、信州大学卒業後、学校教員、丸紅を経て岩城兵衛の長女と結婚を機に初代楽入に師事。昭和三五年（一九六〇）に四段登窯・紫香楽窯を築窯。昭和四二年（一九六七）、表千家流壺内家十二代長生庵堀内宗完（兼中斎宗匠）に入門、茶道の指導を受ける。伝統的な信楽焼の無袖、焼べと併せて施穂・絵付など近代信楽の茶陶にも専念。一九七一年（昭和四六）年、穴窯（室町桃山時代形式）を築窯。この年、大徳寺管長浩明老師より「壺中窯」の命名を賜り改名。

三代楽入（良三）は昭和四〇年（一九六五）信楽に生まれる。

二代楽入の次女と結婚を機に二代楽入に師事。作陶に精進するとともに長生庵堀内宗完（兼中斎宗匠）に入門。茶道の心を学びつつ本格的に信楽茶陶を始める。二〇〇二（平成一四）年、大徳寺管長福富雪庭老師より陶印を賜り、三代楽入を襲名。先代が築いた穴窯を再興し現在に至る。

私共は、陶器の製造や作陶体験、茶菓子製造小売り、茶事体験や茶道教室の開催や茶懐石料理の提供を行っています。

日本には、「日本六古窯」と呼ばれる古来の陶磁器があります。瀬戸・常滑・越前・丹波・備前・信楽の六つの産地を指す言葉で、日本の伝統的な技術と、中国や朝鮮半島の文物に影響を受けながらも各地でそれぞれの様式を確立してきました。また桃山時代以降、「茶の湯」の器としても、多くの茶人に愛されてきました。特に信楽焼は最近ではNHK朝ドラ「スカーレット」でも取り上げられるなど注目されています。

楽入陶房は、この信楽焼の窯元としての工房の名前です。楽入という作家名で、主に茶道具を作り続け、当代で三代目となります。

伝統的な穴窯を使い作品を作り続けています。全国の有名百貨店での個展を始め、昨年は京都の野村美術館でも展覧させていただいております。

壺中庵は庭内にある茶室の庵号で、二畳台目の小さい小間茶室です。その小さな空間で一服の茶をいただく、または茶道の本来の目的である茶事を体験していただいています。私達の先人が築いてきたおもてなしの文化を少しでも知って感じて楽しんでもらえるように、茶道を通して、日本の文化、季節、出会いを大切にす心、本物のおもてなしを、一日一組限定で体験していただいています。

工房では土に触れ、茶の湯によって心を、懐石料理で体を満たしていただく

ど、茶道の魅力を多角的に発信する場として事業を行っています。

この秋には宿泊スペースの設置を予定しており、一組限定で宿泊しながらのゆっくりとした二日間の体験をしていただきたいと思っています。作陶していただいたり、夜の茶事（夜咄）や朝の茶事（朝茶）を体験していただいたり、また茶事料理の体験やお茶菓子作りなど、お客様に合わせたおもてなしを考えています。

コロナの中、人々の遊びも変わらざるを得ない状況です。一組限定で他の人とは交わらない体制の中で、ゆっくり遊んで、土の良さ、茶道文化の良さを知った、学びのある遊びを体験していただきたいと思えます。



### 楽入陶房 壺中庵

住所 滋賀県甲賀市信楽町長野703

TEL 0748-82-1133 FAX 0748-82-3233

Mail contact@kochu-an.com

○アクセス 新名神高速道路 信楽IC下車（約10分） 駐車場 約5台

○営業時間 10:00-17:00

（要予約。詳細は電話にてお問合せください）

○定休日 木曜日



## 一体感の醸成を

ずいぶん前の話だが、国会や霞が関取材していた時、滋賀県出身の官僚から「滋賀県は名前を変えるべきだ。琵琶湖県にでもすればもう少し知名度が上がる」と真顔で言われたことがある。

そんな簡単に県名を変えるなんてできっこないでしょうと冗談半分に聞き流したが、あとでよくよく考えてみると、確かに、彼の言う通り知名度の低さを実感することがある。東京暮らしは通算10年になるが、出身県を問われ、つい「琵琶湖のある滋賀」と言ってしまう。別に卑下しているわけではない。イメージしてもらうのに手っ取り早い。京都新聞は京滋の地元紙を公言している。「京都はいいね」とよく言われるものの、「滋賀はいいね」とあまり言われたことがない。

毎年発表される都道府県魅力度ランキングでも、多少順位に変化があっても滋賀は下位に甘んじている。歴史・文化遺産が数多くあり、母なる湖は日本一。酒がうまく、風光明媚な場所も他県に引けを取らない。それなのになぜ、知名度が低いのか。

理由として「滋賀の人は宣伝下手」とよく耳にする。がつつすることが嫌いで、人を押しのけてまで、という気質があるらしい。それはそれで品があってよろしいのだが、もっとPRを強めないと現状は変わらない。京都駅に降り立って、「滋賀の観光案

内所があればいいのに」と常々思うが、これも遠慮なのだろうか。県や大津市がJR、京都市と協議したという情報を得たことがない。

もう一つ、琵琶湖の存在があると思う。地域の真ん中に鎮座し、昔から人々の交流を遮断してきた。琵琶湖大橋や近江大橋はあるが、それでも交通が不便であることは間違いない。県民の一体感を醸成するのに琵琶湖が阻害してきたのではないだろうか。恵み多い琵琶湖にも、やはり負の部分だってある。

とはいえ、琵琶湖に数多くの橋を造ることもできない。どうすれば一体感が生まれるのか、まずは課題を拾い、向き合うことが大切だ。魅力度ランキングに一喜一憂する必要はないが、ランクアップの目標を立て、県内外に呼びかければ面白い企画ができるかも知れない。

幸い滋賀県人会が全国で組織されている。県が大枚をはたいて開設したアンテナショップ「ここ滋賀」も、近江商人ゆかりの東京・日本橋で新たな顔になりつつあり、多くの人を集め出している。ここを発信拠点に何か仕掛けられないか。内において気付かないことも、外からよく見えることもある。一体感アップに一役買えば、故郷への思いもより強くなると思う。

京都新聞社 東京支社長 下尾芳樹

## アーティストに新しい活躍の場を。



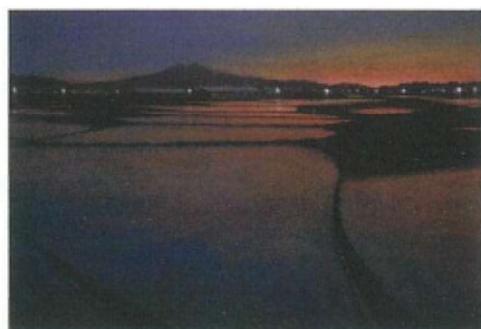
小嶋一浩「鳥の塔」(陶板)  
収蔵：東京都豊島区役所3階ロビー



高橋由紀子「練り込み花鳥皿」



木ノ戸久仁子「稀晶石抹茶碗」



吉田友幸「田んぼ」(絵画)



奥田章「テーブルウェア」(陶芸)



炭酸デザイン室(テキスタイル)



若山義浩「Clay paper」



葛原準子「大将人形」



榎原希「窯変壺」



市川知也「一期一会」(ガラス)

あかね画廊

〒104-0061  
東京都中央区銀座4-3-14 筑波ビル2F  
TEL&FAX:03-3561-4930

ギャラリー  
唐橋

〒520-0851  
滋賀県大津市唐橋町23-3 滋賀県青年会館前  
TEL&FAX:077-531-1310



# ここ滋賀を強力バックアップ!

## マ-ケ-ット

春到来!「ここ滋賀」のアイテムで新たな生活に彩りを添えてみませんか?

### ●泡立つ抹茶ラテ

928円(税込)

本格的な石臼挽きの抹茶とミルクを使用したふんわり泡立つやさしいラテ。ホットでもアイスでもお楽しみいただけます。



### ●滋賀かりんとう・彩り松葉

324円(税込)

胡麻・アオサ・しそを生地に練り込み、それぞれの風味を生かした3つの味が楽しめます。甘さをおさえた上品な蜜で仕上げたかりんとうは、飽きのこないやさしいお味です。



### ●AMAHAGAN (山桜)

6,490円(税込)

山桜由来の、優しい麗らかな香り立ちのウイスキー。

桜餅や梅のような「和」のフレーバーが感じられ、華やかで上品な甘さが口の中で広がります。



### ●ふさつきストール (生成)

6,160円(税込)

滋賀県内の工場で作られた麻のストール。長さがたっぷりとしているので、服装によってアレンジをお楽しみいただけます。



## レストラン

### ●レストラン

#### ■春のパーティープラン"楽乃"

6,000円(税込)

滋賀の旬の野菜や湖魚、近江牛も召し上がれる自慢のパーティープランに、酒肴の盛合せを通常よりも多くご用意した特別プラン。コロナ対策のため、各種お料理は個別にご提供いたします。この機会にぜひお試しください。



### ●テイクアウト

#### ■さくらラテ 530円(税込)

春らしい、甘さ控えめの日本産の桜のラテ。少し肌寒い日にはホットで、ぽかぽか日和の日にはアイスのラテを、お楽しみください。



### ● Information/Access

営業時間:

1F マーケット・地酒バー・総合案内 11:00 ~ 20:00

2F レストラン 平日/11:30 ~ 22:00

土日祝/11:30 ~ 20:00

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、営業時間を変更しています。

WEB: <https://cocoshiga.jp>



T103-0027 東京都中央区日本橋2-7-1

- ・東京メトロ・都営地下鉄日本橋駅 B6・B8出口からすぐ
- ・JR東京駅八重洲北口から徒歩6分

TEL:

1F マーケット・地酒バー・総合案内  
03-6281-9871

2F レストラン  
03-6281-9872





# 取り戻そう日常生活。 東京滋賀県人会は

## お知らせ

### ■イベント開催情報

#### 小林修写真展 司馬遼太郎「街道をゆく」の視点

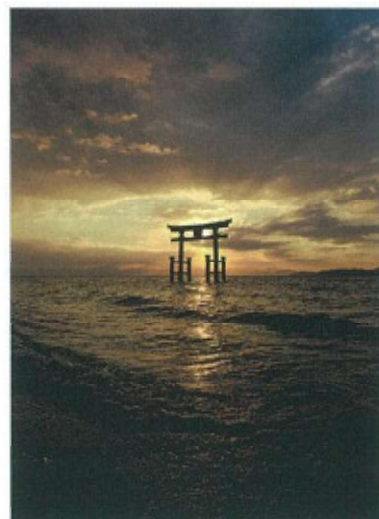
織田信長や明智光秀、芭蕉が見た近江（滋賀）。  
『街道をゆく』シリーズの、始まりの地でもあります。  
四季折々の近江の風景、琵琶湖にこめられた歴史を感じてみませんか。

#### 【期間】

令和3年3月25日（木）～5月9日（日）

#### 【会場】

<写真展>ここ滋賀 2階・屋上 展示エリア  
<フェア>ここ滋賀 1階 マーケット（書籍の販売あり）  
※フェアは4月1日（木）より開催



小林修氏の写真集『司馬遼太郎「街道をゆく」の視点』。歴史紀行文学の傑作『街道をゆく』でもっとも登場する舞台は滋賀県でした。戦国武将の夢の跡でもある近江。過去と現在が交差する時空間をお楽しみください。

主催・企画=ここ滋賀

協力=株式会社 朝日新聞出版、週刊朝日編集部

### ■観光案内

「ここ滋賀」観光コンシェルジュがお迎えます。

1階の観光案内コーナーでは、毎日11時から17時まで専任の観光コンシェルジュがお客様の観光相談にお応えしています。主要な観光地のパンフレットのご案内や、興味のある分野をお伺いし、オススメの観光地をご紹介しますり、各地域の見どころをご案内するほか、アクセス方法のご相談なども受け付けています。

長浜の「黒壁スクエア」での街歩きや、近江八幡の水郷めぐりなど、春の滋賀旅情報をたくさんご用意してお待ちしております。





# 「近江の生きた祭り」 長浜曳山祭

森岡 進一 (近江八幡市出身)

滋賀県は祭りの宝庫です。かつて県内の約1400集落毎に四季を通じて存在していました。整理や変容を重ねつつ、今なお県内各地で、様々な祭りが年間を通じて開催されています。しかし、2020年3月からの新型コロナウイルス感染症の猛威により、感染拡大防止のため、昨年の祭礼行事は、その殆どが神事のみで中止となりました。

滋賀県の有形無形の文化財は、人口当たりの件数が多く、小

さな地域のコミュニティーの一つの中で、地域毎に住民に支えられ守られてきたという特徴があります。毎年4月から5月上旬の土日曜日になると、あちこちから太鼓や鉦の音が聞こえ、御旅所へ渡御する、何百年にも渡って続けられている村の鎮守の祭り、五穀豊穡や疫病封じの祭りが今年こそ開催出来そうです。う祈っています。今回のカメラで巡る旅は、開催されることを祈りつつ、長浜曳山祭りを紹介します。

## 長浜曳山祭の曳山行事

(ユネスコ無形文化財・国指定重要無形民俗文化財)

開催日：4月13～16日

2020年は、中止になり神事のみ行われました。

開催社：長浜八幡宮

住所：長浜市宮前町13-55

交通：JR長浜駅下車徒歩10分

曳山数：13基(毎年4基が交替で巡行)

【歴史・概要・見所】

長浜曳山祭の始まりは、長浜城主羽柴秀吉が戦乱で荒廃した長浜八幡宮を再興し、家臣に武者行列を行わせた事と伝わります。その後しばらくして、町民らは秀吉の男子出生祝いに下賜された砂金を元手に曳山を造り、復興した八幡宮の祭礼で引き回します。これが曳山祭の始まりとされています。江戸時代になると、長浜は縮緬産業の発展で町が潤い、町民は競うように贅を尽くした曳山を造り、漆や金具や外国製の幕類で飾り「動く美術館」と呼ばれる豪華絢爛なものとなりました。現在は、太刀渡りの太刀を飾る長刀山と、子ども狂言が行われる四疊半の舞台を備

えた12基の曳山があります。祭りの最大の見所は子ども狂言(歌舞伎)です。毎年4基の曳山が出場し、5歳から12歳の男の子が本格的な狂言を奉納します。

【長浜曳山狂言】(国指定記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財)

長浜市の長浜八幡宮の祭りのおりにその曳山(山車)の上で演じられる子供による歌舞伎芝居です。はじめ曳山では能狂言等を演じたとも云われますが、江戸中期頃からは歌舞伎狂言を演じるようになります。しかもそれを十歳前後の男の子が演じるようになって今日に至っています。絢爛豪華な曳山の舞台の上で「子ども狂言」が行われますが、世話物あり、時代物ありとバラエティーに富んでいます。役者は5～12才の男の子と決まっています。現在では「長浜曳山祭の子ども狂言」を「子ども歌舞伎」とも言い習わしますが、長浜の子ども狂言は、曳山の楽屋の中で太夫の語る義太夫・三味線の伴奏と伴に子ども達がセリフを言いながら演技するという、実にユニークな芸能です。義太夫浄瑠璃歌舞伎とも言うのでしようか。人形浄瑠璃は太夫と三味線の語りと伴奏に合わせて人形が演技をしま



長浜八幡宮



御旅所

すが、子ども歌舞伎は、人形の代わりに子どもが演じ、歌舞伎の様にセリフを語ります。このように独特の芸風から狂言とか歌舞伎と呼ばれる様になったのかもしれない。役者は、春休みに入った3月20日頃から朝昼晩と4月12日迄毎日厳しい稽古が繰り返されます。本番の舞台では、子供達の迫真の演技にはつい引き込まれてしまいます。

【三番叟】

長浜曳山祭では公募により、三番叟の役者を決める「矢箆の神事」が行われます。三番叟は、芸能の原点とも云われ、狂言の中で最高の格式を持ち、五穀豊穡を祝う大変おめでたい極めて祭儀的な演目です。三番叟は、長浜曳山祭では幕開けである一番山で演じられます。前半の採の段と後半の鈴の段の二段が有り、躍



動的な採の段に、厳かな鈴の段と非常に対照的です。三番叟は演じるとは言わず「踏む」と言います。それ程に足拍子が印象的な演目です。

**【曳山の特徴】**

子ども狂言を行う舞台と楽屋と上部の亭等が付いた芸能舞台構造をした曳山です。滋賀県下では長浜型の呼称があります。長浜の曳山の高さは約6〜9m、幅は約3〜3.5m、重さは約4.5〜6.2tあります。多くは江戸時代の中頃に造られました。曳山は、大きく4つの部分（舞台・子ども狂言を演じる。楽屋・舞台後方の幕に覆われた所で太夫と三味線が浄瑠璃を語り出番待ちの役者が控える。亭・曳山の2階で、篠笛や胴太鼓・締太鼓や摺り鉦で、囃子を演奏する。下山・曳山を支えている土台）があります。祭りは、構成する諸行事とそれを担う人々の「礼に始まり、礼に終わる」と云われます。「〇〇山、正装を整えましたので只今より神前入り致します」「〇〇山、狂言を奉納させて頂きます」と場面



三番叟



子ども歌舞伎



しゃぎり



緋色の幟



白色の幟

毎に挨拶します。厳格な挨拶を踏襲する事により祭礼の歴史的重みを感じ取ると共に、次世代へ継承して行く責任を再認識するものとお聞きしました。

**長刀山**

小舟町組（長刀組）  
・曳山・1699（元禄12）年に初代建造。子ども狂言を演じる他の12基とは違った形で、御所車式の大きな三つの車輪がついています。この山は、長濱八幡宮には行かず14日に直接御旅所へ据え付けられます。屋台上には、太刀渡りに用いた太刀と緋羅紗の幟を飾り付けます。一番山が御旅所に入る前に白地に笹竜胆の紋が入った幟に付け替えられます。

**猩々丸**

舟町組、2018年出番山（志香山）  
・曳山・1774（安永3）年建造。山組名に因み、唯一船の形をしています。帆を高々と上げ湖上を進む船のイメージで作られた船型の曳山で、胴幕には豪華な金糸で昇降龍を表しています。猩々とは猿に似た中国の伝説上の生き物です。亭はなく、他の曳山より約3m長く、赤い帆を揚げます。背面には見送り幕ではなく中国三国時代の武将「関羽と張飛」の木彫が飾られています。作者は左甚五郎と伝わり、円山応挙の師である石田幽汀が彩色しています。なお、猩々丸が出場する際には、米原市長沢の「公家奴振り」が出演する慣わしで、猩々丸が出る年は、祭りが一段と盛り上がると云われています。



船形の猩々丸



背面の木彫



子ども歌舞伎



子ども歌舞伎



メイン通りの壽山



舞台前柱の昇降龍

**壽山**

大手町組、2018年出番山（式香山）  
・曳山・1782（天明2）年建造。秀吉の開いたメイン通りの曳山です。前柱の鋳金具である昇降龍は、国友鉄砲鍛冶の藍水堂一徳が13年間を費やした渾身の作品です。その下絵は、隣村、今村の中谷求馬が描いたメイドイン長浜の作品です。なお、「竹林七賢人」が描かれた胴幕は京都の稲荷大社や大垣の相生山と系譜を一つにします。山全体が物語を紡ぐオシャレな曳山です。奉納子ども狂言（歌舞伎）「山内一豊とその妻千代 似合夫婦の出世巻」  
長浜 一豊の屋敷

います。  
奉納子ども狂言（歌舞伎）「一谷嫩軍記 熊谷陣屋の場」



## 鳳凰山

魚屋町組、2018年出番山（参番山）

・曳山・1829（文政12）年建造。絢爛豪華な装飾品を纏う曳山の山車は動く美術館と云われます。鳳凰山の装飾で一番の見所は、山車の背後を飾る一際大きくて美しい見送り幕です。16世紀後半のベルギー製のタペストリーで金糸銀糸を用いて「妃アンドロマケと侍女」が描かれており、「国指定重要文化財」になっています。祇園祭りの鶏鉾や叡天神山の見送り幕等と共に、本来は1枚の作品だったそうです。旧山が1818（文化15）年に山蔵と共に焼失し1829（文政12）年に再建された豪華な曳山です。亭の上に鳳凰の木彫を飾り、鳥や花を描く舞台の天井絵や舞台高欄親柱の鶏の雄雌を表す鍔金具など様々な装飾品が曳山を飾ります。



重文の見送り幕



豪華な曳山の鳳凰山



華やかな舞台の格天井



子ども歌舞伎



最古でシンプルな高砂山



囃子の少女達



子ども歌舞伎



子ども歌舞伎

・奉納子ども狂言（歌舞伎）…「恋飛脚大和往来 梅川 忠兵衛 新口村の場」

## 高砂山

宮町組、2018年出番山（四番山）

・曳山・本体は、1745（延享2）年に修理記録あり、それ以前に建造。亭は1816（文化13）年に建造。資料上、12基の芸山の中で最も古い曳山です。舞台屋根に尖った三角の切妻造りで、構造自体は比較的シンプル。見た目2階建てですが、亭の天辺の高さは随一です。二層部分が、大手通りの北風商店前のアーケード部分を何度も傷め、曳山の屋根もその都度修理されていると云われています。鍔金具の意匠にも花鳥や猿、龍や鯉など職人の技術を凝

らしています。特に大輪部分の「兎波を奔る」は謡曲「竹生鳥」から採られたと伝えられます。奉納子ども狂言（歌舞伎）…「玩辞楼十二曲の内 義士外伝 土屋主税」

## 翁山

伊部町組、2019年出番山（壹番山）

・曳山・1765（明和2）年建造。翁山を代表する二装の図柄がある見送り幕は、一装は「国指定重要文化財」です。16世紀ベルギーで制作されたタペストリーで2人の戦士を中心に馬上の騎士達が織り出されています。このタペストリーの余った部分をつなぎあわせて作られたのが二装目の見送り幕で、女性ばかりの絵柄をパッチワークして曼荼羅模様を作っています。この2枚は、14日の登り山での「見送り幕の付替え」で観られ、必見です。面幕は、猿が水面に映った月を掴もうと、木に掴まりながら長い手を懸命に伸ばしている「猿猴捉月図」で、「鯉の滝登り」もあります。

らしています。特に大輪部分の「兎波を奔る」は謡曲「竹生鳥」から採られたと伝えられます。奉納子ども狂言（歌舞伎）…「玩辞楼十二曲の内 義士外伝 土屋主税」



凝ったあしらの翁山



重文の見送り幕

らしています。特に大輪部分の「兎波を奔る」は謡曲「竹生鳥」から採られたと伝えられます。奉納子ども狂言（歌舞伎）…「玩辞楼十二曲の内 義士外伝 土屋主税」



子ども歌舞伎



鶴が載る常盤山

・曳山・建造年代不詳。亭は1818（文政元）年に建造。亭には珍しいちよつと怖いような鳥が載っています。これは木彫りの「鶴鷓」が置かれているのです。鷓はあたま・かしら、鷓は全身が黒い鳥の意味で大型の鷓を指します。鷓という竹生鳥の嫌われもの、糞害を思い起こしますが、実は鳥の中でも大変賢い鳥で、飼ひ易く以前は全国で鶴鷓が行われていました。正面の高欄親柱には向かって右にはお坊さんに化けた狐、左にはワナを仕掛けて待つ狐師のユーモラスな鍔金具が見られます。

らしています。特に大輪部分の「兎波を奔る」は謡曲「竹生鳥」から採られたと伝えられます。奉納子ども狂言（歌舞伎）…「玩辞楼十二曲の内 義士外伝 土屋主税」

## 萬歳樓

瀬田町組、2019年出番山（参番山）

・曳山・1802（享和2）年建造。曳山本体と亭が一体感を持ち、見た目にも美しい曳山です。舞台前柱は色絵象嵌と呼ばれる手法で「高砂の尉と姥」が表現されています。高砂は能の作品

らしています。特に大輪部分の「兎波を奔る」は謡曲「竹生鳥」から採られたと伝えられます。奉納子ども狂言（歌舞伎）…「玩辞楼十二曲の内 義士外伝 土屋主税」



高砂の尉と姥



美しい萬歳樓

らしています。特に大輪部分の「兎波を奔る」は謡曲「竹生鳥」から採られたと伝えられます。奉納子ども狂言（歌舞伎）…「玩辞楼十二曲の内 義士外伝 土屋主税」



の一つで夫婦愛と長寿を寿ぐ大変めでたい作品で「高砂や この浦舟に帆を上げて」のフレーズは結婚披露宴の定番と云っても過言ではありません。銚金具は、年老いた男女の表情を白髪や顔の皺、骨ばった手など実に細緻に表現しており、膳所の名工奥村晋次の作と云われています。

### 孔雀山

・神戸町組、2019年出番山（四番山）  
 ・曳山…1751・1764（宝暦年間）年建造。その名の通り、舞台屋根棟上げに羽を広げた幅190cmの金銅製の孔雀を置きます。見送り幕は、染織美術の草分けである山鹿清華の代表作「萌春の図」で草花に孔雀3羽を織り出してあります。かつてこの町には金に糸目を付けない粋な豪商が何軒もあり、銚金具等、見える場所だけでなく、目立たない所にお金をかけている且那祭の粋を感じる贅沢な山です。12基中最大の亭を持つ重さ6.5トンの孔雀山は、上部が重いため揺れやすくバランスも取りにくそうです。実働部隊が少ない山組が一番重いヤマを引くのは大変です。



子ども歌舞伎



重量級の孔雀山

### 諫鼓山 (2021年出番山)

・御堂前組、2017年出番山（老番山）  
 ・曳山…1774（安永3）年建造。最も背が高い曳山です。亭の上に太鼓に載った鶏が一際高く置かれています。太鼓は王政に不満があるものは、これを叩き民意を伝えると云う目的でしたが、天下泰平の為、鶏が菓を作ったと云う諫鼓鶏の故事から山名にちなんで載せられました。舞台前柱の「竹林七賢人」の銚金具は表情豊かで今にも動き出しそうな彫刻が色絵象嵌で巧みに表現されています。舞台正面障子上の「波と兎」の木彫りは、「阿・吽」を表し、兎の赤い目には玉眼が入られています。繊細な彫刻を飾る曳山です。

### 春日山 (2021年出番山)

・本町組、2017年出番山（武番山）  
 ・曳山…建造年代不詳。神鹿がいつぱい



亭の上に鶏と太鼓



重層の亭の諫鼓山



山蔵から出る春日山



子ども歌舞伎

の曳山です。その名の通り、奈良の春日大社が名の由来です。そのため神のお使いである鹿が、前柱銚金具や、舞台障子に描かれています。亭の中の小さな襖には鹿を伴った「寿老人」が描かれています。黒地に赤、青、黄色のモミジと2頭の鹿を描いた法被が鮮やかです。

### 月宮殿 (2021年出番山)

・田町組、2017年出番山（参番山）  
 ・曳山…1785（天明5）年建造。12基の曳山の中でも一際豪華な亭の上にギヤマン製の宝玉（直径約32cm）を載せています。自慢の亭は、方形の下層と六角の上層からなる重層で、全体にバランスのとれた美しさです。亭の左右の窓には油彩で花々が描かれたガラスがはめられ、そのモダンな意匠に驚かされます。舞台前柱の「鯉の滝登り」は狩野永徳の次男・孝信の下絵によるものです。

### 青海山 (2021年出番山)

・北町組、2017年出番山（四番山）  
 ・曳山…1755（宝暦5）年建造。高砂山と同様に初期に造られた曳山です。



バランスのとれた月宮殿



辻回し



長浜曳山博物館展示



青海山

軽快な切妻の舞台屋根を持ち、舞台前柱には怒涛に舞う千鳥をあしらひ、名前の通り、大海原を渡る船のイメージです。この曳山のシンボルは、「飛燕と龍と波」。青海波と龍を描いた見送り幕、飛燕の胴幕、前柱の銚金具に飛燕と波。面幕にも龍が描かれています。

### \*おわりに

夫婦で巡ったお祭りの長浜曳山祭では、出番山に係る経費が約数百万円以上とお聞きし、少子高齢化で中老や若い衆の減少、世代間の意識や社会の変化も含めて、祭りや保存の経費負担など今後の傳承の在り方が思われました。

祭りは、地域の幾つもの世代を超えた不断の努力により守り伝えられ「生きた祭り」が存在しています。祭りは、それを伝えようとした人々の熱い思いと行動があつて傳承されてきました。この先人達の思いを、今を生きる人々が受け継ぎ、未来へしっかりとバトンタッチしていかなくてはなりません。祭りを大切に守り伝えてきた訪問先で出会った人達や子供達も、これからの祭りを熱く愛し、多くの人が関わって、活動され、元氣になり、祭りが末永く繼承されていきますようにお願いします。素敵な滋賀が益々素敵に見えるよう諸事情はあるでしょうが、まず人と自然を大切にすることを忘れず、大切な有形無形の文化財と琵琶湖を守って頂きたいです。

### (参考資料)

- ・長浜市ホームページ
- ・舟町組狸々丸…平成30年長浜曳山まつり
- ・祝町組鳳凰山…平成30年長浜曳山祭
- ・長浜みくろな協会…みくろなVOL.127
- ・(公財)びわ湖芸術文化財団…季刊湖国と文化



滋賀の酒蔵だより

# 「地酒は地域と共に」

滋賀県酒造組合会長の喜多良道です。

滋賀では、平成28年に「近江の地酒でもてなし、その普及を促進する」条例が施行されるなど、県を挙げて地酒文化の盛り上がりを期待する声が高まりつつある一方、昭和40年代に100を超えた酒蔵の数は年々減少、現在の組合員数はわずか33蔵となってしまいました。しかしながら、比良、比叡、鈴鹿、伊吹などからの豊富な伏流水と、米どころとして誇れる高品質の酒米を使い、それぞれの蔵元が工夫を凝らして個性豊かな地酒を醸造することで、近年県内はもとより国内外のファンも増えつつあり、世界的な酒のコンテスト等で高い評価をいただく蔵元も現れてきています。

また、琵琶湖を取り囲むように点在する酒蔵が醸す酒は「地酒」として地元で愛される存在であるとともに、地域の農業やその風景、歴史を支える存在でもあります。

このたび滋賀の地酒を貴誌に取り上げていただけることに感謝申し上げ、まずはわたくしどもの蔵の取り組みを紹介させていただきます。

喜多酒造のある東近江地域は、文字通り琵琶湖の東に位置し、鈴鹿山系からの伏流水と、酒造りに適した気候に恵まれ、県内でも比較的多くの酒蔵が残る地域です。

文政3年創業の弊社は、昨年創業200年の節目の年を迎えました。県外はもとより、海外への販路拡大も視野に入れてはおりますが、蔵元、杜氏はじめ社員すべての思いは「地元で愛される酒を造りたい」に尽きます。

2008年から近江八幡市白王町の皆さんと取り組んでいるのは、ラムサール条約にも登録された琵琶湖の内湖“西の湖”に浮かぶ島状の飛び地「権座」で作った米で酒を造る、その名も「権座プロジェクト」。

湖上に浮かぶ小さな田んぼに、田船で農作業に通う素朴で貴重な風景を次世代に残すための活動も10年を超え、若い世代も巻き込んだ地元の一大プロジェクトに成長しました。

18年3月、44年ぶりに復活したのは東近江市百済寺町に伝わる僧坊酒“百済寺樽”。室町幕府にも献上されていたと伝わる酒の復活をまちおこしの目玉にしようと17年春、寺・農家・農業団体が協力し「百済寺樽復活プロジェクト」を発足。田植えや稲刈り、写経体験などで地域を応援してもらう“体験オーナー”の募集には、東京や大阪からの応募もあり、地域の持つポテンシャルの高さを改めて実感しました。一方、弊社はJA湖東や農家のみなさんと地域の気候や土質に合った酒米の選択や栽培方法などについて検討を重ねるとともに、収穫した米を醸造する際には、杜氏の意見も取り入れながら「長く愛される酒に」と米のうまみを最大限に生かした味わい深い酒を目指しました。そうして出来上がった清酒「特別純米 百済寺樽」のラベルには、同寺を象徴する「三足土器」が描かれ、今年2月中旬に新酒を発売。評判は上々と聞いております。

今回は、地酒をキーワードにした東近江地域のまちおこしの取り組みをお伝えしましたが、県内の蔵元は皆、地域の一員として「地元に寄り添う」酒造りに励んでおります。皆様におかれましても、近江の懐かしい風景を思い浮かべながら、それらを守り育てる地域住民の心意気を感じることができる「滋賀の地酒」をぜひ今宵の一献にさせていただきたく、滋賀の情報発信拠点「ここ滋賀」（中央区日本橋）が運営する「滋賀の名品ショッピングサイト」（<https://cocoshigashop.jp/>）等で検索、お買い上げいただければ幸いです。



「三足土器」が描かれた百済寺樽ラベル



田船を駛いで農機具や収穫した米を運ぶ、昔ながらの農作業

喜多酒造株式会社

〒527-0054 滋賀県東近江市池田町1129

TEL：0748-22-2505 FAX：0748-24-0505

<https://kirakucho.com/>

百済寺樽プロジェクト

<https://hyakusaijitaru.com/>



# 事務局より

## ●会報誌編集方針

新しくなった「滋賀縣人」の編集方針は、以下の通りです。各項目の詳しい内容はホームページ「いま滋賀」に掲載しています。

<https://imashiga.jp/2021/03/04/東京滋賀県人会会報誌「滋賀縣人」の編集方針/>

- ①チーム編集
- ②他の県人会とのネットワーク化
- ③様々な県人会活動の紹介
- ④投稿記事の奨励
- ⑤広告企業対策
- ⑥印刷コスト軽減
- ⑦他県人会の会報誌を参考に
- ⑧HP・SNSとの連携



## ●東京滋賀県人会HP「いま滋賀」

<https://imashiga.jp/>

県人会のイベント情報や滋賀の文化・風物の連載、各市町のふるさと納税情報などが盛り沢山！ 会員の皆様からの寄稿も大募集しています！



## ●東京滋賀県人会Facebook

<https://www.facebook.com/東京滋賀県人会-1013229665488825/>

「ここ滋賀」や歌舞伎座で開催するイベントの最新情報などはこちら！



## ●HP・会報誌への投稿募集

東京滋賀県人会では、会員の皆様からの近況報告、趣味、旅行、日本社会や世界への提言、随想など、バラエティー豊かな投稿記事を募集しています。投稿いただいた記事は東京滋賀県人会のHP「いま滋賀」に掲載し、中から選りすぐったものを会報誌にも掲載いたします。

(HPに掲載された方には、東京滋賀県人会オリジナルQUOカード1000円分を進呈いたします)

また、次号以降、会員の皆様から募集した川柳・俳句の投稿コーナーを作ることを企画しています。こちらも奮ってご投稿いただきますよう、よろしくお願いいたします。

投稿先は：

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-20

グランスイート東日本橋スクウェア205号室

東京滋賀県人会事務局 会報誌編集部

Mail: [tokyo@shigakenjinkai.jp](mailto:tokyo@shigakenjinkai.jp)

## ●編集後記

今号の「滋賀縣人」は、はじめて暖かな春の気配を感じる季節にお届けすることになりました。

昨夏のアンケート調査でいただいたご意見などを活かし、全員参加型の会報誌を目指し、滋賀県に所縁のある方々からの寄稿記事を多く掲載しています。今後とも会員の皆さんからのご投稿をお願いします。

## 東京滋賀県人会 法人会員の皆様のご紹介 (令和3年2月末現在)

(株)滋賀銀行東京支店  
(株)西川  
日本ロジテム(株)  
(公財)湖国協会  
伊藤忠商事(株)  
昭和西川(株)  
たねやグループ  
(一財)東日本橋真宗会堂維持財団  
(株)さらばし銀行  
(株)高島屋日本橋店  
滋賀県東京本部  
メルクロス(株)  
(株)静永事務所  
(株)永昌堂印刷  
(株)ナカノアパレル

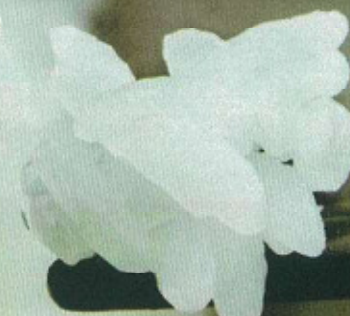
(株)RoseUniverse  
大星岡村(株)  
(株)光洋社  
料亭すし慶  
木村水産(株)  
(株)叶匠寿庵  
清水惣(株)  
江州技研(株)  
柳屋ビルディング(株)  
ENWA(株)  
元三フード(株)  
チョーギン(株)  
アインズ(株)東京支店  
(株)鮎家  
滋賀県青年団体連合会

(株)大生産業  
太田酒造(株)東京営業所  
(株)ひょうたんや  
(株)エムエスシー  
(株)フジキン  
滋賀近交運輸倉庫(株)  
エステックサービス(株)  
(株)布引焼窯元  
(株)びわこフード  
(公社)びわこビジターズ  
ビューロー  
久禮経営労務管理事務所  
大塚オーミ陶業(株)  
中田商店  
(株)トランプ

(株)鹿深サービス  
ゼットリンクス(株)  
(株)三和開発  
笑四季酒造(株)  
(株)ウィルブランニング  
農事組合法人グリーンティ土山  
Ascent Business Consulting(株)  
(株)数寄和  
川島酒造(株)  
(株)甲賀もち工房  
ヤマ庄陶器(株)  
楽入陶房 壺中庵



近江鹿深のこだわり農業  
Kafuka Service



忍びの里 甲賀  
鹿深米

鈴鹿山系の清流と良質の  
古琵琶湖層の土から生まれる

近江鹿深のこだわりのお米

甲賀流忍者の里、滋賀県甲賀市。

この地域は三〇〇万年前は琵琶湖の底にあつた為、古琵琶湖層と呼ばれるミネラルを多く含んだ粘土質の土壌（通称：ずりんこ）が広がっています。この粘りのある土は水分を多く含む性質があり、米にも甘みと粘りを与えます。また、田の水利は鈴鹿山脈から湧き出した清流を直接使用し、さらに甲賀盆地は昼夜の寒暖差が大きく、お米の旨みを最大限に引き出すことができます。私たちは、この自然の恵みを最大限に活かすと共に、琵琶湖とその周辺の地域に配慮し、農薬や化学肥料などを通常の半分以下に抑え、消費者の食卓を意識した「安全で安心な美味しい米づくり」に挑戦しています。

近江鹿深のこだわり農業  
忍びの里 甲賀 鹿深米

株式会社 鹿深サービス

鹿深米

検索

☎0748-88-5799

〒520-3435 滋賀県甲賀市甲賀町相模 683-5  
FAX 0748-88-5796

HP kafukamai.com  
mail info@kafukaservice.com

# 貸アパート・マンション・テナント貸



住まいのトータルコーディネーター

株式会社 大生産業

本社 〒520-2331 滋賀県野洲市小篠原1979番地  
お問合せは ☎0120-83-4566



安心の葬儀・お墓はニチリョクへお任せください。

## 葬儀

満足のできるお見送りは、事前相談から。思い立った時に、まずはお電話ください。経験豊富なスタッフが一所懸命ご相談に応じます。



**愛彩花** 「大切な家族だから、花いっぱいで見送りたい」その想いを、経験豊富な葬祭ディレクターとフラワーデザイナーが叶えます(首都圏)。

## 赤坂一ツ木陵苑

自動搬送式納骨堂。  
お墓、葬儀、法事、供養のすべてが揃っています。



代表取締役社長 寺村公陽(彦根市出身)



供養の未来を創る —— 東京証券取引所ジャスダック上場 詳しい資料をお送りします。<お客様相談室/平日9:00~18:00>

株式会社 **ニチリョク**



**0120-300-100**

ニチリョク



<https://www.nichiryoku.co.jp/>

■設立/昭和41年12月22日 ■証券コード/No.7578 ■資本金/17億3109万9305円 ■杉並本社/東京都杉並区上井草1-33-5 TEL.03-3395-3001

眠っている不動産を、  
家族の幸せのために。

趣味、旅行、老後の備え、子世代への援助など幸せな有効活用を応援します。

～悩みの「種」を笑顔の「花」に～

**モブタウンの**

MOVtown

**「不動産買取」**

ご相談  
仲介手数料  
無料

お荷物  
ゴミ処分費  
無料

家屋補修  
解体費等  
無料



**MOVtown**  
モブタウン  
不動産売却相談専門店

| 大津百町スタジオ |  
大津市御幸町1-56 JR大津駅から徒歩3分

営業時間/10:00~18:00 定休日/毎週水曜・第3火曜  
**0120-48-8082**





# 中川吉明(父)、 中川晶成(息子)の近江牛

わたしらは牛のいのちを  
預かっていると。す。

素牛は但馬系の雌さんだけですわ。  
そして、鈴鹿山脈からの  
湧水を飲ませ、

自家配合の餌をやり、  
さらに自分の田んぼの  
稲わらを食べさせとる。

朝昼晩、毎日、何回も、何べんも  
顔を見て、頭を撫でて、  
体をさすってやる。

かわいいもんですわ。  
すると、牛のほうも氣立てがよくなつて、  
肉の肌理がこまかくなり、

いい香りがかもし出され  
脂も全身に細かく入ります。  
だから、味はどなたさまにも誇れます。

お客さまが喜んでくださることで、  
牛のいのちがまっとうされます。  
ここ琵琶湖の東岸、湖東育ちの牛を  
どうぞ食べてやってください。

中川畜産

中川吉明、中川晶成



近江牛飼育・繁殖・卸・販売



中川畜産

〒527-0076 滋賀県東近江市野口町 55-2 ☎0748-22-0603 <http://omigyū-nakagawa.jp/>

『のぞまれるものを  
のぞむかたに…』

近江のこだわり栽培『榮米』



〈榮米おかき〉

焼塩マヨネーズ味

100g入り 350円(税別)

青のり七味味

100g入り 350円(税別)



近江  
榮米

『滋賀羽二重100%使用のおもちも承っております!』

※この広告をご覧になり、ご注文いただいた方には粗品を贈呈いたします。



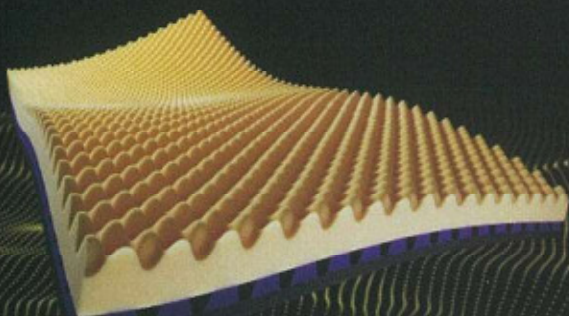
榮農場

滋賀県栗東市蜂屋 720-2

TEL 077-552-0353 <http://sakaefarm.jp/>



muatsu  
Sleep Spa X



～不変と進化～

muatsu開発から半世紀。常に最新の技術を追求し進化し続けています。  
これまでも、これからも…さらに進化したSleep Spa Xで良質な眠りを。



NISHIKAWA

昭和西川株式会社

0120-711-033 <http://www.showanishikawa.co.jp>



マットレスの女王。



進化するマットレス。点で支える

muatsu

Logistics Innovation

日本ロジテム

ロジスティクスの力をビジネスの力に。

日本ロジテムグループは、創業以来76年に亘り培った物流のオペレーションシステムやノウハウを駆使し、お客様に最適な物流サービスを構築、提供、運営しています。

輸送、保管、流通加工に加え、物流に関わる幅広いメニュー(情報システム、組立・施工、オフィス移転、人材派遣、業務請負、輸出入関連等)をご用意し、日本国内のみならず、中華圏やインドシナ半島地域に至るグローバルビジネスのロジスティクス・ニーズにもお応えします。



登録事業所 ISO9001 ISO14001  
日本ロジテム 阪神ロジテム 日本ロジテム(本社)  
ロジテムインターナショナル  
ロジテムトランスポート

ISO 9001  
ISO 14001  
認証登録

「物流の時代」をリードする  
日本ロジテム 株式会社

〒105-0004  
東京都港区新橋5-11-3 新橋住友ビル  
TEL.03-3433-6711(代) FAX.03-3437-0145






# 琵琶湖の水産業を本気で何とかする会

事務局長 春山俊宏

[yoshihiro.haruyama.19710428198@gmail.com](mailto:yoshihiro.haruyama.19710428198@gmail.com)



新型コロナウイルスの  
1日も早い終息をお祈り  
申し上げます。

〜安心で安全な日常を願って〜







# 近江の春

## びわ湖クラシック音楽祭<sup>2021</sup>

テーマ「行け、我が思いよ、黄金の翼に乗って」  
(ヴェルディ作曲 歌劇「ナブッコ」より)

2021年 **5月1日(土)・2日(日)**

〔会場〕滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール

- ♪短時間の多彩なコンサートを2日間で14公演開催!
- ♪昨年小ホールで予定していた公演を大ホールで!

●公演の詳細はホームページで順次ご案内します。

<https://festival.biwako-hall.or.jp/>

びわ湖ホールチケットセンター Tel.077-523-7136

(10:00~19:00 火曜日休館、休日の場合は翌日) チケット発売3/20(土・祝)

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1



第32回琵琶湖夢街道

# 大近江展

開催期間 令和3年 3月24日(水)～3月29日(月)  
※日本橋高島屋の営業時間に準ずる。(ただし最終日は午後6時閉場)

開催場所 日本橋 高島屋SC 本館 8階催会場  
東京都中央区日本橋2-4-1

主催(公社)びわこビジターズビューロー・滋賀県 協力(公社)東京滋賀県人会・滋賀銀行東京支店

公益社団法人びわこビジターズビューロー  
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号「コラボしが21」6階  
**TEL: 077-511-1530**

スマホ・タブレット  
からでもOK!!

詳細はこちら

滋賀県情報発信拠点  
「ここ滋賀」  
日本橋高島屋となり徒歩30秒

ここ滋賀 検索



売りものは・・・ **発想と技術**です

東京會館




外装アイアンワーク



螺旋階段手摺

金属裝飾金物の新分野を目指します。

 **江州技研株式会社**

<http://www.goshugiken.co.jp>

本社 〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目19番地10号  
第2東商センタービル2号館1F・2F  
TEL.03(5825)6191(代) FAX.03(5825)6293  
E-mail:goshu@nyc.odn.ne.jp  
滋賀分室 〒522-0352 滋賀県犬上郡多賀町久徳433番地  
TEL.0749(48)2609



# MAKING TRUST

ゴム・樹脂・ベルト・ホース製品  
専門商社

環境対策製品・省エネ製品・エンジニアリング・各種工事



亀喜工業株式会社

東京支店

〒135-0023 東京都江東区平野3丁目3番13号  
TEL(03)5646-6550 FAX(03)5646-6555

滋賀支店

〒520-3046 栗東市大橋5丁目10-28  
TEL(077)552-0233 FAX(077)553-1562

神戸本社・姫路・伊丹・広島・福知山  
名古屋・横浜・宇都宮・大阪・堺



歌舞伎座の地下

こ びき ちょう  
本 換 町 広 場

お土産処 お食事処 お弁当処を常設し  
各種屋台が約 20 台出店  
ウキウキワクワクの楽しい広場です！



東京メトロ日比谷線・都営浅草線「東銀座」駅直結

歌舞伎座サービス株式会社

東京都中央区銀座 4-12-15 TEL 03-3545-6554  
営業時間 10:00~18:00



# 滋賀県内の主な事業用地（ご紹介可能用地及び計画中の用地）

## 湖西地域

### ①②高島市

- ①所在地：高島市マキノ町西浜地先  
開発可能面積：8ha(農地)
- ②所在地：高島市安曇川町南船木地先  
開発可能面積：2.6ha(農地)

## 大津地域

### ③大津市

- 大津市栗林町**
- ③所在地：大津市栗林町地先  
用地面積：1.0ha [1区画]

## 湖南地域

### ④⑤守山市 計画中

- 木浜県有地**
- ④所在地：守山市木浜町地先  
用地面積：8.7ha
- 横江地区**
- ⑤所在地：守山市横江町地先  
開発可能面積：計10.9ha(農地)

### ⑥⑦栗東市

- 栗東市上鈎・下鈎・手原・蜂屋地区事業用地**
- ⑥所在地：栗東市上鈎・下鈎・手原・蜂屋  
用地面積：0.36ha[2区画]
- 東部地区工業用地（B・Cゾーン） 計画中**
- ⑦所在地：栗東市六地藏地先  
開発可能面積：8.1ha（山林）

## 湖北地域

### ⑧長浜市

- ⑧所在地：長浜市相撲町地先  
用地面積：4.2ha

### ⑨⑩米原市

- 米原工業団地**
- ⑨所在地：米原市三吉地先他  
開発可能面積：6.6ha  
(農地) [2区画]
- 柏原東部工業団地**
- ⑩所在地：米原市柏原地先  
開発可能面積：4.7ha  
(農地)

## 湖東地域

### ⑪⑫彦根市

- 原町用地**
- ⑪所在地：彦根市 原町  
用地面積：2.8ha
- 高宮町用地 計画中**
- ⑫所在地：彦根市高宮町地先  
用地面積：2.8ha[3区画]

### ⑬甲良町 計画中

- 所在地：甲良町池寺地先  
開発可能面積：29ha（山林）

### ⑭愛荘町

- ⑭所在地：愛荘町蚊野外・愛知川地先  
用地面積：5.2ha・6.6ha[2区画]

滋賀県の産業用地、その他企業立地に関するお問い合わせは

**滋賀県企業立地推進室** まで

滋賀 企業立地

検索



TEL 077(528)3792 / FAX 077(528)4876  
E-mail fd00050@pref.shiga.lg.jp



# 翼は、夢を見る。

勝利を夢見て、ひたすら努力するアスリートたち。  
彼らの頑張りや、汗が、涙がスポーツの魅力となって輝く。  
勝敗をこえた感動を、私たちに与えてくれる。

彼らのさらなる飛躍を願い、

JALはスポーツの夢を応援します。

日本航空は、東京2020  
オリンピック・パラリンピックの  
オフィシャルエアライン  
パートナーです。



TOKYO 2020  
OLYMPIC GAMES



JAPAN AIRLINES



TOKYO 2020  
PARALYMPIC GAMES

東京2020オフィシャルエアラインパートナー